

平成 25 年度第 3 回千葉県図書館協議会議事録

1 日 時 平成 26 年 3 月 20 日 (木) 14 時 00 分～16 時 05 分

2 場 所 千葉県消費生活センター 3 階 研修講義室

3 出席者

(1) 委員

齊藤誠一 委員長、

小野和美 委員、山田至 委員、井上真理 委員、十倉典子 委員、

能勢仁 委員、高梨綾子 委員、溝添周二 委員

(2) 事務局

橘中央図書館長、森川みやこ図書館長、渡辺花見川図書館長、幸島稲毛図書館長、土橋若葉図書館長、古舘緑図書館長、中田美浜図書館長、布施中央図書館管理課長、石井中央図書館情報資料課長、元好中央図書館管理課担当課長

(3) 傍聴人

8 人

4 議 事

(1) 平成 26 年度予算及び事業計画について

(2) 「千葉県読書環境整備計画(案)」のパブリックコメントについて

5 議事の概要

(1) 平成 26 年度予算及び事業計画について

・ 事務局説明及び質疑応答

→原案どおり承認された

(2) 「千葉県読書環境整備計画(案)」のパブリックコメントについて

・ 実施結果及び確定版の「千葉県読書環境整備計画」について事務局報告

(3) その他

・ 退任館(課)長挨拶

・ 平成 26 年度第 1 回図書館協議会の開催予定及び委員改選に伴う委員公募の実施予定について〔事務局より報告〕

・ 千葉県図書館がデジタル化した郷土資料の提供開始について〔事務局より報告〕

6 会議経過

<開 会>

○中央図書館館長あいさつ

○定足数の確認(図書館協議会委員 8 名の出席をもって成立)

○会議の公開についての説明

○委員長あいさつ

<議 事>

(1) 平成 26 年度予算及び事業計画について

委員長　それでは協議に入らせていただきます。次第に沿って進めてまいります。議事(1)の平成 26 年度予算及び事業計画について、事務局から説明をお願いします。

事務局　《配布資料「【資料 1】平成 26 年度予算及び事業計画について」に基づく説明》

委員長　ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、ご質問あるいは意見をお伺いしたいと思います。

委員　よろしいでしょうか。

昨年 10 月に開催された協議会において、今年度策定される計画の中で、花見川の分館整備を進めていくことを表明されたかと思えます。

しかし、今回の予算を見る限り、整備に向けた項目が出ていないように思えます。これはなぜなのでしょう。

事務局　花見川区役所における分館整備につきましては、この後ご説明させていただきます「千葉県読書環境整備計画」におきましても、今後整備していく必要があることを項目として出させていたいただいたところです。

今後、読書環境整備計画を基に、市の第 2 次実施計画への位置付けを行っていく必要があります。

実施計画の計画年度は、平成 27 年度から 29 年度までの 3 か年で、平成 26 年度は計画の策定を行う年度となります。

そのため、直ちに今年度より予算化されるわけではありません。

委員　1 ページの表の中の「6 郷土資料のデジタル化」ですが、一通りの目途が付いたということで、平成 26 年度は予算化されていないのかと思えます。

ところで、この 25 年度分の予算が浮いた分は、資料費などに回ってはいないのでしょうか。それとも、デジタル化の費用は国費など別の枠の予算だったのでしょうか。

事務局　お話しのとおり、郷土資料のデジタル化につきましては、県の補助金を使って行いました。緊急雇用創出事業というもので、平成 24 及び 25 年度の 2 か年に渡り、活用させていただきました。

委員　よろしいでしょうか。主な新規事業として「ファミリー読書ノート」の作成とありますが、現在作成している事例集「我が家のファミリーブックタイム」との関連はどうなっているのでしょうか。

事務局　事例集「我が家のファミリーブックタイム」につきましては、市民の家庭での読書活動の取り組み事例とお薦め本を事例集としてまとめ、4 か月児の健康診査時及び小学校 1 年生の入学時に配布しているもので、平成 18 年度から作成しております。

今回の「ファミリー読書ノート」につきましては、これらとは直接関係しておらず、全く新規として作成するものとなります。

親子のふれあいや家庭での読書活動の推進を図るため、読んだ本の感想

などを書き込めるノートを作成し、小学校低学年の児童に配布するものです。

2万5千部作成し、配布については小学校等を通して行う予定ですが、ノートの内容については、図書館で作成します。詳細については、これから検討を進めていく予定です。

委員 子どもたちにこの読書ノートを配る際に、図書館では何かイベントなどを行う予定があるのでしょうか。

また、実際にノートを配るのはいつ頃を考えているのでしょうか。

事務局 なるべく夏休み前に児童に配布できるよう、これから作業を急いで参りたいと考えております。

イベントにつきましては、ノートの中身と併せて検討して参ります。

委員 せっかく市として予算を使って作成するわけですから、子どもたちに喜んで使ってもらえるような、有用なものを作ってほしいと思います。

事務局 読書ノートの中身につきましては、図書館の若い職員を中心に様々なアイデアを持ち寄り、子どもに親しみを持って使ってもらえるような、遊び心を入れたノートにしたいと考えております。

また、提案型の入札などを行うことにより、民間の意見やノウハウを取り入れ、より良い読書ノートを作っていくと考えております。

委員 よろしいでしょうか。この読書ノートというものについて、私としては非常に疑問です。そもそも、それだけの内容を盛り込んだノートとするには、予算が少なすぎるように思います。

また、このノートを使った読書活動の推進というのは、本来学校教育がやるべきこととも思います。学校であれば、使い勝手など子どもたちからの反応もつかみやすく、また、実際の活用状況なども把握することができるのではないのでしょうか。

それと、来年度小学校1年から3年に配るということですが、これは毎年続けていくということですか。1回配って終わりというのでは、全く意味がないことになってしまうと思います。

委員 私も同感です。250万円、1冊100円という予算は、非常に中途半端な気がしております。これだけのお金で一体何ができるのか、疑問に感じます。

また、それだけの予算があるのであれば、図書資料の充実や公民館図書室、学校図書館への支援など、他にもっと必要なことがあると思います。

委員長 委員の方々から様々な意見も出てきておりますが、事務局から何かありますでしょうか。

私からも併せて伺いたいのですが、今回の読書ノートは、市の計画など何かに基づいて行われる事業なのでしょうか。

事務局 まず、今回の読書ノートにつきましては、市長のマニフェストに基づいて実施する事業となります。

それと、事業費につきましては、必ずしもこの金額でノート製作費全てを賄うわけではなく、広告を入れるなど民間事業者からの提案も受け入れ、少額でもより良いものを目指して参りたいと考えております。

また、読書ノートの今後についてですが、配布した家庭に対するアンケートなどを実施し、それらの結果等を踏まえ、来年度以降の実施について検討して参ります。

委員 この読書ノートにつきましては、大変素晴らしい試みだとは思いますが、なかなか学校側としても詳細が見えてこない中で、どう扱ってよいか分からないところでもあります。

ところで、この読書ノートは感想を入れる以外にどのようなことが入ってくるのでしょうか。また、読書ノートの使い方や活用法について、図書館として学校まで来て説明などをしていただけるのでしょうか。

恐らく、夏休み直前に配るだけでは、そのまま仕舞われてしまい、活用されないのではないかと思います。

事務局 感想文などは、記入を強制してしまうと却って読書が負担に思われてしまいますので、簡単なコメントをできれば書いてもらう程度で考えております。また、面白かった度合いをランク付けしたり、シールを貼り付けたりすることも考えております。

いずれにしても、子どもが使いたくなるような読書ノートにしていきたいと考えております。

委員 予算について、先ほど安いとのお話がありましたが、私はむしろ 100 円は高いと思っております。お店でも様々な努力で予算を切り詰めて販促品などを作っており、ノートであれば 10 円でも受けてくれるところがあるのではないかと思います。

却って 100 円も使っているといくと詰め込んでしまうと、単なる雑記帳になってしまうのではないかと心配してしまいます。

委員長 様々なご意見が出てきておりますが、読書ノートの作成につきましては大変面白い試みだとは思いますが、例えば、山口県の下関市立図書館では「読書通帳」が配られていて、図書の貸出し履歴が記録できるのですが、意外と人気が出ているそうです。

別の項目についてですが、国立国会図書館のデジタル資料閲覧システムの整備に併せ、Wi-Fi 環境と一緒に導入することは、非常に良い案だったのではないのでしょうか。

委員 この閲覧システムは、いつ頃導入される予定なのでしょう。

事務局 夏までには導入を完了したいと考えております。

委員 祝日開館についてですが、来年度から地区図書館において実施されるということで、非常に嬉しいことと思います。

より利用者が利用しやすくなり、また来館者数の増加にもつながってい

くかと思えます。図書館としても調整などで大変苦勞されたかと思えます。大変お疲れ様でした。

ところで、職員の負担増に関しては人件費など予算には反映されているのでしょうか。

事務局 人件費・光熱水費・メールカーの運行など、開館日数の拡大に係る運営経費全てを予算に反映させております。

委員 それらの内訳については教えていただけるのでしょうか。

事務局 人件費が 460 万円ほど、あとメールカーが 100 万円、光熱水費が 200 万円ほどとなっております。

委員長 地区図書館の祝日の開館につきましては、利用者の利便性に直接つながるため、非常に素晴らしいことと思われます。

ところで、別の項目になりますが、3 ページの施設の安全管理について、図書館で避難訓練などは実施されているのでしょうか。

事務局 避難訓練につきましては、全ての館で職員が参加し実施しております。

委員 4 ページの“【方針 2】(1) ①”にある、図書館未利用者への PR の強化についてですが、図書館として具体的にどのような手段で PR をされているのでしょうか。

事務局 ホームページやフェイスブック、市政だよりなど、市として使うことのできるあらゆる媒体を活用し、PR を行っております。

事務局 また、報道機関への積極的な投げ込みを行い、千葉市の施策について PR をしてもらおうようお願いし、パブリシティを強化しております。

委員 民間ならば、客が来なければ倒産してしまいます。もちろん、PR をするにしても、PR の費用に掛かるだけの客が来なければ同じことです。

図書館としても、金がかかる PR ではなく、かからない PR を心がけていく必要があると思えます。例えば、回覧板などといった町内会への働きかけ、既利用者の活用・いわゆる口コミなどです。それと、バスの広告などもタイアップで支出を少なくして、実施できるのではないのでしょうか。

事務局 バスでの PR についてですが、市で運行しております「おまごバス」の車内で、泉分館の企画展示やイベントなどの案内を出しております。

市が関わっている交通機関のため、無償で出させていただいております。やはり、他のバス会社はお金がかかってしまうので、難しいところです。

PR の効果などについて、はっきりした結果はございませんが、これらの PR は継続性が大事だと思っております。図書館の活動を PR し、沿線の住民に図書館に関心を持っていただくことが、先ずは必要だと思っております。

事務局 みやこ図書館では、千葉市の図書館だよりと別に、広報誌「みやこ図書館だより」を今年度作成しました。

学校や地区内の町内自治会連絡協議会を通して、回覧などにより周辺世帯への周知を図り、顔の見える図書館を目指しております。

近々、第 2 号も発行を予定しております、同じように回覧をお願いする予定であります。

事務局 地元の方々を通して PR などのお願いをすると、非常に良い協力をいただけます。ですので、積極的に地域を巻き込んでいけたらと考えております。

事務局 花見川図書館では、インターネットベースで「花見川ライブラリー」を年 2・3 回発行しております。

自治会と連携した歴史講座の開催案内など、独自に工夫を凝らし地域に密着した記事を作成しております。

委員 広告が一番効くのは“狭告”です。対象を絞れば絞るほど、対象の方にしっかりと届く PR ができるのです。

委員 やはり口コミが一番、これに勝るものはないと思います。

委員 学校の近くにある緑が丘公民館ですが、公民館として広報誌を定期的に発行しております。やはり、広報誌を発行した後は、公民館に利用者が来るようになるということです。

学校だよりでも、公民館の行事予定を掲載しており、それらの情報を基に生徒が公民館に行くこともかなりあるようです。やはり、地域の中から情報が出てくると、それを基に人は動きます。そして、子どもが行けば親も一緒に行くなど、つながりが広がっていくものです。

図書館としても、地域の中での広報活動は積極的に、かつ定期的に続けてほしいと思います。

委員長 他のところでも何かありますか。

委員 図書館の経営資源としての「人」のところでお話しをさせていただきます。

先日、図書館で開催された児童担当の職員の研修に参加させていただきました。そこでは、若い職員が一生懸命にお話し会の練習をされており、積極的に意見交換をし、勉強されておりました。

その光景を見て、非常にうれしく思いました。

こんなに積極的に図書館業務をされている職員がいるのなら、何年かで図書館を離れてしまうような人事異動から外し、図書館に長期間居ることができるような体制を整備すべきだと思います。

委員長 確かに図書館としても、非常にもったいないことと思います。

委員 先ほど話のありました YA コーナーについてですが、時折、コーナーを覗いてみますと、小学生が圧倒的に多く利用していたりします。

各図書館でも YA コーナーの利用を PR されているようですが、それらを見に来られるのは、その他の世代です。中高生に対して PR しても、なかなか伝わりません。中高生は、PR の対象から外されても良いのではないかとともに思います。

あと、国でも子どもの読書活動の推進のため、4 月 23 日を「子ども読書

の日」と制定し、いろいろな PR をされているのですが、案外知られていない気がします。千葉市としても同じ行政の立場として、PR を強化していく必要があるのではないかと思います。

委員長 4月30日の「図書館記念日」もそうですね。

事務局 「子ども読書の日」につきましては、図書館においても当日及びその前後に各館でお話し会を予定しております。

4月1日号の市政だよりに掲載予定ですので、ご覧いただければと思います。

委員 先ほど、委員の方から中高生に対する PR は必要ないといったご意見があったかと思いますが、私は反対です。

中学校の学校図書館には指導員が居ります。指導員は学校で、読書に関する相談やお薦めの本の紹介など、生徒と本を繋げるために日々必死で努力し、活動しております。そのため、生徒も学校図書館を使うようになってきており、その影響も大きいのだと思います。

また、せっかく小学生の時期に読書に親しむことが身についても、この世代で本から離れたら、この先も図書館に行かなくなってしまいます。

決して、中高生は本が嫌いではありません。もっと中高生に対する PR をお願いしたいと思います。

委員 ちなみに、小学校図書室の指導員は週4日勤務されているのですが、2日ずつ別々の学校で勤められていることから、なかなか十分な体制とはいえないのが現状です。

私としても、読書活動は継続し定着を図っていくものですから、学校としても小・中・高と連携を深め、読書推進活動を続けていく必要はあると思います。

委員長 実は私も、学生時代に地元の図書館に大変素晴らしい司書の方がおられて、読書の素晴らしさや図書館活動について、たくさんのことを教えていただきました。

そのような体験から、今の仕事に就いているということもあります。

いずれにしても、学校図書館指導員の方々の活動というのは、子どもたちに非常に大きな影響を与えていると思っております。

委員 7ページ“【方針4】(1)③”の子ども読書まつりについて、イベントの冠名から“子ども”を取るという動きを耳に挟んだのですが、平成26年度は“子ども”は付くのでしょうか。

また、8ページの一番上に「こどものページ」の充実とありますが、具体的にどういった内容を考えられているのでしょうか。

事務局 まず、子ども読書まつりについてですが、来年度は冠名を変更する予定はありません。まつりの詳細につきましては、これから担当者会議などで詰めていくこととなりますが、例年どおり大小のイベントを織り交ぜ、盛

況なイベントとしたいと思います。

また、「こどものページ」の充実については、子ども向けのパスファインダーを増やすとか、団体貸出に関するページの見直しを検討しております。

委員 確かに、今のホームページで団体貸出の本は非常に見づらいですね。

事務局 使い勝手についても、工夫していきたいと思います。

委員 8 ページ“【方針 4】(2) ①”に子ども読書活動推進会議の開催とありますが、どのようなことをされているのでしょうか。

事務局 まず、「千葉市子ども読書活動推進計画」についてですが、文部科学省が定める「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」に基づき、現在千葉市においても第 2 次計画を策定し、進行中であります。目標年度は平成 27 年度となっており、計画には 27 年度末の数値目標が定められております。

目標の達成に向けた計画の推進を図るため、本年度は 1 月に担当者会議を開催し、庁内の施策担当課の職員と計画の進捗状況などについて情報の共有を図り、意見交換を行っております。

委員 計画が終了する平成 28 年度以降は、第 3 次計画を作ることになるのでしょうか。

事務局 そのとおりです。現在、国において第 3 次の基本計画が策定されましたので、これから都道府県において推進計画が策定されます。千葉市でもその計画を基に、平成 27 年度に第 3 次計画を策定することになるかと思えます。

委員 あと、8 ページ“【方針 4】(2) ②”にも書かれておりますが、図書館として、学校に出向いた活動をもっと広げていただきたいと思えます。

委員 先ほど委員の方からご説明をいただいた学校図書館の指導員の活動につきましては、なかなか外からは見えてこない話を伺うことができ、それなりの成果が出ているのが分かりました。ありがとうございます。

今後作成される「ファミリー読書ノート」をきっかけに、図書館と学校が連携した活動を行って、交流が出来ていくという流れになれば、大変良いことではないかと思えます。

委員長 確かに若い世代も、YA コーナーといった場をきちんと整備すれば、図書館に来てくれるのです。

武蔵野市に整備された武蔵野プレイスには、図書館の青少年資料のコーナーの他、図書館スペース以外にラウンジやスタジオなど青少年活動支援スペースが整備されていて、いつもたくさんの若者がいます。

図書館としても、方針を明確に決めて、居心地のいい環境を整備すれば、きっと若い世代も来てくれるものと思えます。

他にありますか。

委員 11 ページに寄附の受入に関する記載がありますが、行政として、予算が減っていく中で、市民の寄附行為を活用していくことは、これからもっと

必要になっていくのではないかと思います。

また、他の機関との連携についても同様で、例えばパリでは図書館と商店街で本を融通し合うとか、ちょっとした連携は当たり前になっています。市としても、普段図書館を利用しない新たな利用者層への広がりが見込め、店としても新たな集客力の向上につながるなど、双方にメリットがあり、検討してみても良いかと思います。

いずれにしても、もっと図書館も外とつながっていくべきかと思います。

委員長 外部との様々な連携については、様々な図書館で好例が出ています。

また、寄附行為につきましても、直接的な寄附ではなく、様々な図書館で雑誌スポンサー制度などが行われていて、実際に市内の商店や中小企業から協力を得ている例はあります。

広く寄附を集めることは、図書館に対する関心や興味を持ってもらうということからも、非常に良いことかと思えます。

委員 3 ページの“【方針 1】(1) ③”の項目で、利用しやすい図書館環境づくりとして利用マナーの向上が挙げられておりますが、実際に図書館利用者のマナーはどういった現状なのでしょうか。

また、8 ページの“【方針 4】(2)”の学校の連携について提案なのですが、夏休み中に、中学生たちが市議会で身近で問題と感じていることを話し合う「子ども議会」を開催されていますが、同じように中学生が図書館に意見や提案を伝えられるような場があっても良いのではないかととも思えます。

事務局 まず利用者のマナーの問題については、千葉市に限らず、どこでも苦労されていることかと思えます。

騒音や席の取り合いなど様々なケースがありますが、やはり多いのは記事の切り抜きや破損など、資料の取り扱いに関することです。図書館内においても啓発の貼紙をしたり、破損した本の展示を行ったりしているところではあります。

それと、中学生からの意見や提案を聴く場につきましても、図書館では中学生の職場体験を積極的に受け入れているのですが、その際に中学生から質疑応答と併せて意見交換を行っております。

図書館としましても、様々なお話や提案を中学生から伺うことのできる、貴重な機会として活用させていただいているところです。

委員 本の破損についてのお話に関連してなのですが、「アンネの日記」や関連本が複数の図書館で破られたというニュースが最近ありましたが、千葉市はどうだったのでしょうか。

事務局 千葉市の図書館では、現在のところ被害は出ておりません。今のところ安全確保のため、カウンターなどに一時的に避難させているところです。

委員長 利用者のマナーについては、小さい頃にしっかりと教えることが重要かと思えます。

すみませんが、大変時間が押しておりますので、この辺で閉めさせていただきます。

ご報告いただいた平成 26 年度事業計画については、来年度の図書館評価におけるサービス取組設定のための基礎資料となるということですので、よろしく願いいたします。

それでは、次の議事に入ります。(2)「千葉市読書環境整備計画(案)」のパブリックコメントについて、事務局から説明をお願いします。

(2)「千葉市読書環境整備計画(案)」のパブリックコメントについて

事務局 《配布資料「【資料 2】「千葉市読書環境整備計画(案)」に対するパブリックコメント手続の実施結果について」に基づく説明》

「千葉市読書環境整備計画」は、今後、市の第 2 次実施計画への位置付けを図り、着実な推進に向けて動いて参りたいと思います。

委員長 ありがとうございます。花見川の分館整備などにつきましては、この協議会でも以前からお話が上がってきていたところですので、それらの課題解決に向けた計画が策定されたことについては、素直に前進したと捉えてよろしいかと思ます。

それでは、千葉市読書環境整備計画について、ご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

委員 確かに、昭和 45 年の計画から全く進歩がなかった様々な課題を抽出し、これだけの方針をまとめ上げられ、計画を策定されたことは素晴らしいことだと思います。図書館の皆様の努力に感謝いたします。

しかし、今回の計画を策定する中でも再三申し上げてきたことですが、公民館図書室、また、学校図書館については計画の対象外として、ほとんど取り上げられていません。これらの施設についても、今後の方針が必要だと思います。特に学校図書館については、学校図書館としての計画も別途必要ではないかと、私たちは考えております。

また、分館の整備などにつきましては、実施計画への位置付けの中で行程が示されることになると思うのですが、その他の実施計画に位置付けられないものについては、行程表を示していただけないのでしょうか。

事務局 今回の計画では、千葉市図書館として取り組むべき項目に優先順位を付けたところでは。

これから実施計画に位置付けを図っていくところですが、その中で年次計画をまとめていかないと当然予算も付けられませんので、これから行程について検討して参ります。

その他の計画につきましても、優先施策を実施する中で併せて実施できないかなど、改めて検討して参ります。

委員 私も、公民館図書室が今回の計画から外されているのは大変問題だと思

います。

一体、図書館サービスの拠点としての公民館図書室の問題は、どこで検討するのでしょうか。到底今のままで良いとは思えません。図書館としては拠点として認識しているのに、実態として公民館図書室は管轄が違っているから扱えない、というのはやはりおかしいのではないのでしょうか。

鳥取県では、県立図書館が全面的に市町村の図書館の選書や相談、研修などをバックアップしています。同じように公民館図書室には、モノだけでなく人や情報など様々な支援が必要なはずで、図書館としても、もう少し公民館図書室に対し、柔軟な支援体制を検討してもらいたいと思います。

事務局 図書館としましても、公民館図書室の資料費に限りがあることから、購入希望の資料があれば図書館での購入や相互貸借手続きを行うなどし、提供する支援体制をとっております。また、公民館職員を対象とした研修を図書館が開催したり、図書館職員対象の研修に公民館職員の参加を促したりするなど、様々な支援は行っているところです。

委員 その辺の対応をされていることは分かっています。

しかし、公民館図書室の現状は決して良くなっていません。

事務局 確かに図書館としましても、公民館図書室への支援の必要性は理解しております。しかし、何度も申し上げておりますとおり、指定管理者制度への移行に向けた動きなど、これからの公民館の方向性が定まっております。公民館図書室ともなりますと、それを維持していくのかも含めてこちらでは分かりません。

公民館図書室を図書館に組み入れるといったことも、財政面や運営体制の点からも、すぐには無理かと思えます。

委員 公民館図書室の在り方は、図書館が考える事ではないのですか。

事務局 重要な図書館ネットワークの拠点としての位置付けは、今後も変わらないと思います。

ただ、公民館として対応を協議しているところであり、公民館施設のことに図書館からアプローチすることは困難と考えております。

委員長 図書館が財政や運営体制などの方針をあいまいにしたまま、公民館図書室の拡充を求めていくことには、図書室をやめるという話につながりかねないのかもしれないかもしれません。

事務局 財政的な対応などについても、方針が出てからでないと、図書館としては難しいところです。

委員長 公民館図書室は、図書館施設の拠点となって良い施設だし、折角整備されているネットワークなだけに、活用する方向にもっていければ良いとは思いますが。

毎回、協議会でこの問題が出て、お互い平行線のまま流れるということが続いております。とにかく一度、運営上の問題や財政的な課題などを全て

提示した上で、意見を擦り合わせていかないと、この件については同じことの繰り返しになってしまうと思います。

委員 公民館に関連して思うのですが、これからの超高齢化社会を考えた時、高齢者に対する学習支援やサービスが、まだまだ薄いように思います。今後、地域の生涯学習の拠点、コミュニティの中心として、公民館の役割はより大きくなっていくものと思います。

公民館図書室についても、これらの役割をしっかりと認識されたうえで、今後の方針を検討していただきたいと思います。

委員長 どうもありがとうございました。この辺で閉めさせていただきたいと思います。

報告いただいた読書環境整備計画につきましては、3月25日(火)の公表を予定されているとのことですので、よろしく願いいたします。

(3) その他

委員長 続きまして、「3 その他」に移ります。

事務局から、何かございますか。

事務局 議題ではございませんが、この3月末をもって、中央図書館情報資料課の石井課長と、若葉図書館の土橋館長の2名が定年退職となります。

つきましては、お時間をいただき、両名よりご挨拶をさせていただきたいと思います。

《両館(課)長あいさつ》

事務局 ありがとうございました。

続きまして次回の協議会についてですが、平成25年度の図書館評価をお願いしたいので、本年6月に平成26年度第1回協議会を開催したいと考えております。

日程等につきましては未定ですが、よろしくお願ひします。

なお、皆様の任期は本年6月末までとなっております。

新たな公募委員につきましては、現在と同様2名の方を選任するよう、4月15日号の市政だよりに募集要項等を掲載する予定です。再任に関する制限等はありませんので、改めてご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後に、千葉市図書館がデジタル化した郷土資料の提供の開始についてご報告します。

第1回協議会におきまして、平成24年度にデジタル化した広報映画等をご覧いただきましたが、この度、デジタル化した資料の提供の準備が整いましたので、3月25日から映像資料の館内閲覧及び貸出と写真資料のホームページによる公開を開始いたします。

なお、本件については、本日付けで報道発表いたしますので、その報道資料と同じものを各委員のお手元に配布してございます。

報道資料に記載があるとおり、公開を開始する映像資料については、千葉市広報映画及びニュース映画など 50 点・DVD 12 枚分を貸出等の資料として用意し、写真資料については、昭和 30 年代からの市内風景のスナップショットなど 100 点を千葉市図書館ホームページで公開します。公開資料は、今後充実を図っていく予定です。

3 月 25 日から公開となりますので、是非ご覧くださるようお願いいたします。

事務局からは以上です。

委員長 退職されるお二人には大変お世話になりました。これまでの図書館運営に対する貢献に深く感謝申し上げます。またご一緒できる機会があれば、よろしく願いいたします。

それでは、本日の予定をすべて終了いたします。

限られた時間の中で、貴重なご意見をありがとうございました。また、議事の進行に対しまして、皆様方のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。

以上をもちまして、平成 25 年度第 3 回図書館協議会を閉会いたします。

本日の議事録につきましては、事務局で議事録案を作成し、委員長の承認をいただいたうえで確定とさせていただきます。

確定後速やかに委員の皆様にご報告いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

本日は長時間にわたり、慎重なるご審議をいただき、誠にありがとうございました。

<閉会>

問い合わせ先 千葉市教育委員会事務局
生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043(287)4081

FAX 043(287)4051

平成 26 年度予算及び事業計画について

1 平成 26 年度当初予算について

〔図書館管理運営〕

(単位：千円)

事業名	平成25年度		平成26年度	
	事業費	内資料費	事業費	内資料費
1 中央図書館管理運営	270,656	55,690	267,831	55,480
2 地区図書館管理運営	311,611	49,569	242,964	49,570
みやこ図書館	114,653	6,691	39,291	6,692
花見川図書館	41,082	6,291	44,479	6,291
稲毛図書館	38,484	5,340	40,243	5,340
若葉図書館	43,765	9,801	44,346	9,801
緑図書館	34,954	10,121	36,332	10,121
美浜図書館	38,673	11,325	38,273	11,325
3 図書館システム関係	201,099	—	203,590	—
小計	783,366	105,259	714,385	105,050
4 稲毛図書館整備事業費	—	—	1,400	—
5 若葉図書館整備事業費	160	—	7,160	—
6 郷土資料のデジタル化	5,910	—	—	—
合計	789,436	105,259	722,945	105,050

※ 事業費の比較では 25 年度より 66,491 千円の減

〔主な新規事業等について〕

(1) 「ファミリー読書ノート」の作成〔新規〕 2,500 千円

親子のふれあいや家庭での読書活動の推進を図るため、自分が読んだ本の書名や感想を書き込める「ファミリー読書ノート」を作成し、家族で読書を楽しむ取組みを推進します。

＜配布対象＞

小学校 1～3 年生

(2) 地区図書館の開館日の拡大〔新規〕 7,488 千円

図書館の利便性を向上するため、地区図書館 6 館において、祝日開館を実施し

ます。

また、中央図書館を含め、振替休日を開館日とします。

<対象日数> ※ 平成 26 年度

祝日及び振替休日 : 16 日

(新たに振替で休館となる 2 日を除くと、開館日の増は 14 日)

(3) 中央図書館の国立国会図書館デジタル資料閲覧システムの整備〔新規〕
649 千円

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、全国の図書館に送信するデジタル化資料送信サービスを中央図書館で提供するため、端末機器等のシステムを整備します。

(4) 中央図書館の Wi-Fi 環境の整備〔新規〕〔予算は(3)に含む〕

利用者へインターネット利用環境を提供するため、国立国会図書館デジタル資料閲覧システムの整備と併せ、中央図書館の館内に Wi-Fi 環境を整備します。

(5) 図書館設備の改修 14,900 千円

老朽化が進んでいる図書館の設備を改修します。

<内 訳>

- ・ みやこ図書館非常用照明設備改修 4,500 千円
- ・ 花見川図書館高圧幹線設備改修 2,000 千円
- ・ 若葉図書館西都賀分館空調設備改修等 7,000 千円
- ・ 稲毛図書館屋上防水改修実施設計 1,400 千円

2 平成 26 年度千葉市図書館の事業計画について

「千葉市図書館サービスプラン 2010」の 3 つの目標を達成するため、6 つの方針に沿った事業を計画し、取組を進めていきます。

【方針 1】 図書館サービスの基本である資料の収集、提供機能を拡充します

●平成 26 年度取組項目

(1) 資料の収集、整理、保存及び提供機能の充実

① 基本的な資料提供サービスの充実

- ・ 図書館の利用を促進するため、資料の収集・提供を迅速に行います。(全館)

② 計画的な資料の収集と保存

- ・ 資料費を有効に活用するため、図書資料の計画的な充実を図ります。(全館)
- ・ 市民の財産である資料を適正に管理、保存します。(全館)

③ 利用しやすい環境の整備

- ・ 利用しやすい図書館環境づくりの一環として、館内表示の改善や利用マナー向上の呼びかけなどを実施します。(全館)
- ・ 利用者にとって見やすく、使いやすい図書館環境づくりの一環として、館内レイアウト等の改善に努めます。(全館)

平成 26 年 3 月に入口近くに設置した文庫本コーナーの資料や展示を充実させ、利用促進を図ります。(中央館) **拡充**

- ・ 安心して図書館を利用できるよう、施設の安全管理を的確に実施するとともに防災体制を整えます。(全館)
- ・ 図書館施設が近くにない地域などに対し、移動図書館車による図書館サービスを提供します。(中央館)

④ 業務水準の維持と向上

- ・ 職員の業務水準を向上させるため、図書館業務に関する専門研修を実施します。
 - * 図書館職員初任者研修 (中央館)
 - * 図書館職員全体研修会 (中央館)
 - * レファレンス・スキルアップ研修 (中央館)
 - * 新任児童職員研修会 (全館)
 - * 障害者サービス職員研修会 (中央館)
- ・ 「身近で頼れるみんなの図書館」としてのサービス向上を図るため、接客研修を実施するとともに、接客マナーの徹底等を図ります。(全館)
- ・ 公民館図書室のサービス向上のため、選書、レファレンス、研修等の支援を行います。(全館)

(2) 多様な媒体による情報提供のための環境整備

① 印刷媒体と電子媒体を組み合わせた情報提供

- ・ 迅速で正確な情報提供を行うため、有料データベース等の活用や電子図書等の収集と提供のあり方について、引き続き検討します。(中央館)

② インターネット情報の利用環境整備

- ・ 国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、全国の図書館に送信するデジタル化資料送信サービスを中央図書館で提供するため、端末機器等のシステムを整備します。(中央館) **新規**
併せて、利用者へインターネット利用環境を提供するため、館内に Wi-Fi 環境を整備します。(中央館) **新規**

③ 視聴覚資料の収集と保存及び提供

- ・ 図書館としての視聴覚資料の収集、提供、保存のあり方や、ブルーレイディスクなど新しい情報媒体への対応について、引き続き検討します。(中央館)

【方針 2】 課題を解決するためのサービスに取り組みます

●平成 26 年度取組項目

(1) レファレンスサービスの充実

① レファレンスサービスの周知と利用促進

- ・ 市民の課題解決を支援するため、レファレンスサービスを周知し利用促進を図ります。(全館)

② レファレンス事例集や調べ案内の作成と公表

- ・ 市民が自ら効率的に情報を入手できるよう支援するため、「調べ案内(パスファインダー)」などの提供内容を充実させます。(中央館)
- ・ よくある質問については問い合わせなくても回答が得られるように、図書館のホームページ内「レファレンス事例集」の掲載内容を充実させます。(中央館)

③ 課題解決に役立つ情報収集と活用力の育成支援

- ・ 市民の情報収集・活用を支援するため、図書館資料の検索講座等を実施します。(全館)

④ レファレンスサービス担当職員の研修

- ・ 担当職員のレファレンス技術を向上させるため、定期的な研修を実施します。(中央館)

(2) だれもが利用しやすい図書館サービスの展開

① ライフステージにあった図書館サービスの提供

- ・ 図書館利用者を増やすため、地域の実情や世代別のニーズ等を考慮した図書館サービスを拡充するとともに、図書館未利用者に対する PR を強化します。(全館)
- ・ ビジネス支援サービスを強化するため、経営・就職関連資料の提供やホームページからの関連情報の発信等を充実させます。(中央館)
- ・ 子育て世代への情報提供を行い、様々な課題解決を支援するため、平成 25 年度に新設した子育て支援のコーナーにおける関連資料の充実を図ります。(中央・花見川) **拡充**

② 図書館利用に障害のある利用者のためのサービス

- ・ 誰もが等しく図書館を利用できるよう、高齢者や図書館利用に障害のある利用者に対するサービスを実施します。

- * 郵送貸出（中央館）
 - * 宅配サービス（地区館）
 - * 対面音訳（中央・みやこ・花見川・稲毛・緑）
 - * 録音資料、点訳絵本の作成（中央館）
- ・ 録音資料を充実させるため、引き続き視覚障害者情報ネットワークに加盟し資料収集活動を強化します。（中央館）
 - ・ より良い障害者サービスの実施のために、職員・音訳協力者向けの研修会や、点字体験の場を設けます。（中央館）
 - ・ 図書館に来館することが困難な高齢者に対し、高齢者施設への図書の貸出サービスを推進します。（中央館）
- ③ 多文化サービス
- ・ 日本語以外の言語を母国語とする市民の利用を促進するため、外国語資料の収集・提供等、多文化サービスを拡充するとともに、サービスの周知を図ります。また、外国語絵本の整備や英語おはなし会の実施など、外国人市民の家庭に対するサービスも推進します。（中央館）
- ④ 資料提供方法の工夫
- ・ 図書館資料の受け取りと返却の利便性を高めるため、図書館・公民館図書室以外での図書館資料の受け渡し場所の設置について、引き続き検討します。（中央館）
 - ・ 利用者の利便性を高めるため、地区図書館 6 館において祝日開館を実施するとともに、中央図書館を含め振替休日を開館日とします。また、地区図書館分館を含めた地域の実情に即した開館日等の見直しについて、引き続き検討します。（全館） **新規**

【方針 3】 図書館から積極的に情報を発信します

●平成 26 年度取組項目

(1) ホームページ等からの情報発信

① 図書館ホームページコンテンツの拡充

- ・ 利用者のニーズに適応した情報提供を迅速に行い、図書館の利用を促進するため、図書館ホームページにおけるコンテンツの拡充やタイムリーな更新などによる積極的な情報発信を図ります。（全館） **拡充**

② 地域情報の発信と地域・行政資料サービス

- ・ 図書館が地域情報の入口となるように、地域・行政資料や地域情報等の千葉市関連資料を積極的に収集し、体系的に整理・保存して提供します。また、これらの情報をホームページ等から発信します。（全館）

- ・ 地域情報の発信を推進するため、デジタル化した郷土資料のうち、広報映画等の映像を収録した DVD の貸出や図書館ホームページによる写真の一部公開を平成 26 年 3 月から開始したところですが、著作権法等の制約から現在のところ公開に至っていない映像・写真・冊子等の公開や活用について検討します。(中央館) **拡充**
- ③ インターネットの特性を活かした情報提供
 - ・ 利用者の利便性を高めるため、ICT(情報通信技術)を活用した新たな情報提供サービスについて、引き続き検討します。(中央館)
 - ・ 市民への図書館サービスの情報発信および図書館の利用を促進するため、ソーシャル・ネットワーク・サービス「フェイスブック」を引き続き運営するとともに、情報発信頻度の向上と内容の充実に努めます。(中央館)

(2) 出会いのある図書館利用の促進

① 講座や企画展示等による情報発信

- ・ 図書館の利用促進につなげるため、各種講座を開催します。
講座については、市民の関心の深いテーマを選定するとともに関係機関との連携などにより関連する企画展示を同時期に実施するなど、さらなる工夫を図ります。
 - * 図書館市民講座(全館)
 - * 郷土史講座、文学講座(地区館)
- ・ 図書館資料の広がりや豊かさを実感してもらい資料への関心と理解を促すため、企画展示を実施します。(全館)

② 図書館サービスについての情報発信

- ・ 図書館の利用を促進するため、出前講座をはじめとした地域での広報活動を積極的に展開します。
 - * 市政出前講座の受付(中央館)
 - * 著作権セミナーの開催(中央館)
- ・ 図書館の利用を促進するため、各種メディアを活用し効果的な広報活動を実施します。
 - * 「図書館だより」の発行(中央館)
 - * 「市政だより」へのおはなし会等イベント情報の掲載(全館)

【方針 4】子どもの読書活動を推進します

●平成 26 年度取組項目

(1) 児童・青少年向けサービスの深化と拡充

① フロアワーク(読書相談・レファレンス)の充実

- ・ 子どもが知的好奇心を満たすことのできる本と出会えるよう、資料の紹介や展示、相談等を行います。(全館)
 - * ブックリストの作成・配布 (全館)

② 読書環境の整備と充実

- ・ 中・高校生の利用を促進するため、YA コーナーを充実させます。(全館)
- ・ 子どもと本との出会いの場を提供するため、児童コーナーでもテーマを決めた企画展示を行います。絵本・お話の本だけでなく、科学読み物等についても積極的に紹介します。(全館)

③ おはなし会等の実施

- ・ 子どもの読書への関心を高めるため、年齢別・対象別におはなし会等を実施します。
 - * 定例おはなし会 (全館)
 - * わらべうたと絵本の会 (全館)
 - * 子ども(高校生)が語るおはなし会 (中央・若葉)
 - * 親子おはなし会 (全館)
- ・ 子どもにさまざまな本への関心を持ってもらうため、絵本や文学以外の資料を紹介するとともに、工作や科学あそび等も行います。(全館)
- ・ 子どもやその保護者、さらにより多くの市民の読書への関心を高めるため、子ども読書まつりを開催し、学校や地域との連携により魅力あるイベントを企画・実施します。(全館)
- ・ 子どもたちの学校休業中などに、身近な図書館で本や図書館に親しむためのイベントを実施します。
 - * 子ども一日図書館員 (地区館)
 - * 親子図書館たんけんツアー (中央館)* こどもかるたあそび (中央・みやこ・花見川)
 - * 科学あそび・映画会・図書館クイズなど (全館)

④ 情報提供と講座、啓発事業の実施

- ・ 子どもの読書や図書館利用の促進のため、一般向け講座や親子参加事業を開催します。
 - * 子ども読書講座 (中央館)
 - * 読み聞かせ講座・入門編 (中央館)、わらべうたと絵本講座 (地区館)
 - * 「子ども読書の日」記念事業 (全館)
 - * 親子図書館探検ツアー (中央館)
- ・ 子どもの図書館利用に関する啓発事業として、子ども向け図書館資料検索講座等の実施について引き続き検討します。(中央館)

- ・ 子どもの図書館利用を促進するため、図書館のホームページ内「こどものページ」の掲載内容を充実させます。(全館)
- ⑤ 児童・青少年サービス担当職員の研修
 - ・ 担当職員の知識・技能を向上させるとともに、講師として派遣できる人材を育成するため、内部研修や派遣研修等を行います。(全館)

(2) 学校・家庭・関係機関等との連携、協力

① 千葉市子ども読書活動推進計画の策定

- ・ 子どもたちがあらゆる機会にあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、千葉市子ども読書活動推進計画(第2次)の推進及び進行管理を行います。(全館)
- ・ 子ども読書活動推進会議を開催・運営します。(中央館)

② 学校や教育機関との連携、協力

- ・ 子どもの読書活動を継続的に推進するために、学校と連携し児童・生徒の図書館見学や職場体験を積極的に受け入れるとともに、図書館から職員が学校に向いての利用案内やおはなし会等も行います。
 - * 小・中・特別支援学校の児童・生徒の視察・見学、調べ学習等受入 (全館)
 - * 職場体験受入(中学生) (全館)
 - * ブックトーク(学校訪問おはなし会) (地区館)
- ・ 市内小・中・特別支援学校に対し、図書館資料の団体貸出を行います。(中央館)
- ・ 教育センター等と連携し、教職員の社会体験研修受け入れ、図書館利用案内、学校図書館指導員研修への協力などを行います。(全館)

③ 家庭・地域との連携、協力

- ・ 親子のふれあいや家庭での読書活動の推進を図るため、自分が読んだ本の書名や感想を書き込める「ファミリー読書ノート」を作成します。(中央館) **新規**
- ・ 子どもの読書習慣を形成するため、大きな役割を担う家庭・地域の団体等に対する図書貸出と活動への支援を拡充します。(全館)
- ・ 千葉市図書館地域おはなしボランティアの育成及び資質向上を図るため、「スキルアップ研修等を実施します。(全館)
- ・ 図書館で育成した地域おはなしボランティアの活動の場を拡充するとともに、地域団体等の依頼を受けて派遣します。(全館) **拡充**
- ・ 家庭での読書をすすめるため、「ファミリーブックタイム事例集」を発行します。(中央館)

④ 関係機関との連携、協力

- ・ 図書館以外で行われる子どもの読書活動推進にかかわる事業との連携・協力の一環として、ブックスタート事業に協力し、4か月児健康診査における読み聞かせの実演や、絵本ボランティア研修に職員及び地域おはなしボランティアを派

遣するとともに、配布する絵本の選書に関する助言を行います。(全館)

- ・ 子どもの読書環境を豊かにするため、保育所・子どもルームなど子育て支援施設と連携・協力していきます。(全館)

【方針5】他の図書館や関係機関と連携、協力します

●平成26年度取組項目

(1) 図書館間協力の一層の推進

① 相互貸借等による資料提供

- ・ 市民が必要とする資料を提供するため、図書館間の相互貸借等により、千葉市図書館に所蔵していない資料を市民に提供します。(全館)

② レファレンス、課題解決のための相互協力

- ・ 国立国会図書館のレファレンス協同データベースに引き続き千葉市の事例を掲載し、登録事例を増やしていきます。(中央館)
- ・ レファレンスサービスの充実を図るため、千葉市以外の図書館施設とのサービスに関する相互協力を行います。(中央館)

③ 千葉市図書館情報ネットワーク協議会活動の推進

- ・ 館種を超えた図書館ネットワークを通じて図書館サービスの向上を図るため、千葉市図書館情報ネットワーク協議会加盟館間の連携による資料の相互利用や、企画展示などの事業を実施します。(中央館)

④ 研修・共同事業の実施

- ・ 職員の資料に関する知識を深めるとともに幅広い資料を利用者に提供するため、他の図書館との協力による共同研修や共同事業を実施します。(中央館)
- ・ 九都県市首脳会議において構成都県市の図書館との広域的連携を進めるため、同会議の「知識・情報資源としての図書館利活用研究会」に引き続き参画します。(中央館)

(2) 地域の生涯学習施設、公的機関、各種団体等との連携

① 生涯学習施設との連携事業の実施

- ・ 市内の生涯学習施設、教育機関、公的機関、類縁機関等と連携し、資料の収集や提供を行うとともに、各種事業の実施に際して相互に事業協力を行います。(全館)

② 教育機関や公的機関との連携、協力

- ・ 高等学校や大学、教育センター等教育機関との連携を図り、高校生、大学生、教員の図書館利用促進と、相互の資料活用について検討します。(中央館)

③ 庁内レファレンスによる情報提供

- ・ 行政サービスの向上を支援するため、庁内の職員に対して業務遂行に必要な資料・情報の提供を行います。(中央館)

④ 市内類縁機関との連携

- ・ 市民にとって、より利便性の高い情報提供機能の充実を図るため、千葉市内で市民に資料貸出や閲覧を行っている施設との連携や協力について、引き続き検討します。(中央館)
- ・ 高齢者福祉施設と連携し、泉分館で大人向けおはなし会を実施します。(若葉)

【方針 6】 市民参加と協働による図書館づくりをめざします

●平成 26 年度取組項目

(1) 図書館活動への参加機会の提供

① ボランティアとしての活動参加

- ・ 図書館サービスがより豊かになり、参加した方にとっても意義あるものとなるさまざまな図書館ボランティア活動を提示するため、「図書館サポーター(仮称)」制度など、図書館サービスにおける市民ボランティアの活動領域の拡大について、引き続き検討します。(中央館)

② 地域おはなしボランティア活動の推進

- ・ 地域おはなしボランティアを育成し、地域での活動を支援します。(全館)

③ 体験学習や実習の受け入れ

- ・ 大学生の司書課程実習やインターンシップ実習を受け入れます。(全館)
- ・ 中高校生や大学生の学生ボランティアの受け入れについて、引き続き検討します。(全館)

④ 図書館施設の市民活用

- ・ 図書館が地域の交流の場となるように、市民の企画・参加による事業を実施します。(全館)

(2) 市民との協働による図書館づくり

① 図書館協議会の設置と開催

- ・ 図書館運営に多様な市民の意見を反映させるため、公募による委員を引き続き登用します。(中央館)

② とともに創る図書館をめざす活動

- ・ 図書館ホームページのお問い合わせメールフォーム等に寄せられる意見等を適切に把握し、図書館運営の改善に向けた基礎資料とします。(中央館)
- ・ 市民が図書館業務の現状や課題などに関し理解を深める機会を提供するため、

市民との協働による「中央図書館見学ツアー」を計画的に実施します。

(中央館)

- ・「中央図書館見学ツアー」の後に参加者から意見を聴くため、市民懇談会を実施します。(中央館)
- ③ 図書館サービスの評価
- ・ 図書館サービスの向上に役立てるとともに、図書館サービスの評価に活用するため、図書館利用者に対し図書館利用アンケート調査を実施します。(全館)

【サービス推進のための経営資源について】

●平成 26 年度取組項目

図書館サービスに欠くことのできない「施設」「資料」「人」の 3 つの経営資源の充実に努めます

- ・ 図書館の安全性・快適性を確保するため、施設の点検や老朽化部分の改修を行います。(全館)
 - * 非常用照明設備改修(みやこ)
 - * 高圧幹線設備改修(花見川)
 - * 空調設備改修等(西都賀)
- ・ 読書環境整備計画の推進
平成 25 年度策定の「千葉市読書環境整備計画」を推進するため、「資産経営基本方針」の基本的な考え方を踏まえ、施策・事業を市の実施計画に位置付けた上で進捗を図ります。(中央館)
- ・ 図書資料費を有効に活用するため、図書資料の計画的な充実に努めるとともに、引き続き予算等の確保に努めます。(全館)
- ・ 図書資料費の確保に努めるため、寄付金受入や募金箱の設置を引き続き実施するとともに、パンフレットラックの設置等による広告料の収入増を図ります。(全館) **拡充**
児童書購入のためにと寄せられた寄附金で購入した図書を「寄附金による新購入本コーナー」に配架して紹介し、利用を促すとともに、より多くの利用者に寄附を呼びかけ、更なる図書資料費の確保につなげます。(中央館) **新規**
- ・ 「身近で頼れるみんなの図書館」としてのサービス向上のため、接遇研修を実施するとともに、接客マナーの徹底等を図ります。(全館) ≪方針 1 (1) ④再掲≫
- ・ 図書館サービスをはじめ、行政分野や地域の課題にも精通し、高度で的確なサービスを提供できる専門職員の確保と育成に努めます。(中央館)

【資料2】

千葉市読書環境整備計画（案）に対する パブリックコメント手続の実施結果について

千葉市読書環境整備計画（案）についてのパブリックコメント手続において、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

いただいたご意見に対する市の考え方を取りまとめましたので、公表いたします。

なお、ご意見の一部については、趣旨を損なわない範囲で要約または分割して掲載させていただきます。

1 募集期間

平成26年1月15日（水）～2月14日（金）

2 募集方法

郵送、ファクシミリ、電子メール及び持参による

3 募集結果

(1) 提出者数 17人

(2) 意見総数 39件

(3) 提出方法別

提出方法	提出者数（人）	意見数（件）
郵送	6	6
ファクシミリ	1	3
電子メール	10	30
持参	0	0
計	17	39

(4) 項目別

項目	意見数（件）
全体について	7
目次について	1
第4章 1 サービス拠点の整備	21
第4章 2 ICTの利活用	4
第4章 3 既存施設の機能更新等	6
計	39

4 案を修正した箇所

1箇所

5 提出された意見とそれに対する市の考え方

別紙「千葉市読書環境整備計画（案）に対する意見の概要と考え方」のとおり

(お問い合わせ先)

千葉市教育委員会事務局生涯学習部中央図書館管理課

電話 043-287-4081

FAX 043-287-4074

メール kanri.LIB@city.chiba.lg.jp

〈参考1〉

千葉市読書環境整備計画（案）に対する意見の概要と考え方

※ご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約または分割して掲載させていただきました。

No.	項目	意見等（概要）	市の考え方	案の修正
1	全体について	本を読むということが、たくさんのお子どもたちの心にビタミンを与えることになる。新しい環境整備計画を歓迎する。	本計画策定後、読書環境の整備を図ってまいります。	
2	全体について	より良い読書環境を作るための環境整備について具体的な計画が盛り込まれたことは喜ばしく、千葉市が読書環境整備に前向きに取り組んでいることを感じた。	(1の回答同様)	
3	全体について	千葉市図書館の現状を分析し、今後の課題を明らかにし、的確な方向を示している。本整備計画の実現のため一層の努力を期待する。	(1の回答同様)	
4	全体について	関係者が意欲的に図書館サービスに取り組もうとする姿勢が伝わるものであり、この計画が実行されることを大いに期待する。	(1の回答同様)	
5	全体について	図書館でできること、図書館としてやりたいことのアピールにもなっている。ぜひ順番を付け実行してほしい。	(1の回答同様)	
6	全体について	利用者を増やすには、図書の実態と図書館の改装などハード面の改善が手取り早いと思うが、予算もあり難しいと思われるので、ソフト面の改善について以下を提案する。 ・自習室及びレファレンスサービスの積極的なアピール ・資料寄贈の呼びかけ ・古本の回収及び古本市の開催	本計画は主にハード面における整備の方向性を示す計画であることから、原文のままとします。 なお、ご提案いただいた内容については、今後の図書館のサービス充実にに向けた参考にさせていただきます。	
7	全体について	図書館で収益事業を行い、古い図書館を改修する経費に充ててほしい。収益を得る方法として以下を提案する。 ・図書以外の資料（AV資料、電子書籍）の貸出の有料化 ・館内へのコーヒーストールの誘致 ・文房具の販売 ・古本市の実施	本計画は主にハード面における整備の方向性を示す計画であることから、原文のままとします。 なお、資料貸出の有料化については、図書館法の規定により実施できませんが、その他ご提案いただいた内容については、今後の図書館のサービス充実にに向けた参考にさせていただきます。	
8	目次について	第3章2の表記が本文見出しと一致していない。	本文見出しに合わせ、「2 資産経営の基本的な考え方を踏まえた検討」と修正いたします。	○
9	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	花見川区役所を利用した図書館整備をぜひお願いしたい。瑞穂地域には2週間に1度しか利用できない移動図書館しかなく、非常に不便だった。瑞穂地域だけでなく、周辺からもたくさんの方が利用できる。	ご提示いただいた意見については、本計画に位置づけております。 今後、実施に向けて検討を進めてまいります。	

10	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	瑞穂地区への図書館整備計画が出されたことを嬉しく思う。JR幕張駅北側地区は街の整備も進行中なのでこれから区役所へ来られる方も利用し易く、保健福祉センターへ来られた時にも利用し易い。区役所への図書館整備の具体的検討を望む。	(9の回答同様)	
11～ 13	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	花見川区役所に図書館を整備してもらいたい。 (同趣旨他2件)	(9の回答同様)	
14	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	子ども達に良書を読ませたいので、地域に気軽に立ち寄って本を借りることのできる図書館は必需品である。是非花見川区瑞穂地域に図書館を整備してほしい。	(9の回答同様)	
15	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	図書館の整備が必要な地域と整備の考え方の内容に関して全面的に賛成である。なるべく多くの住民に読書の楽しみが味わえるよう、是非この案を実現させてほしい。	(9の回答同様)	
16	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	花見川区役所の情報コーナーに分館の整備とあり、とても嬉しい。この地域には小中学校が多くあるが、近くに図書館がなく、図書館に行ったことのない、図書館を知らない子どもたちが多くいる。少子高齢化で、子どもより高齢者の利用の方が多いかもしれないが、千葉市新基本計画で掲げられている「未来を創る人材が育つまち」のためにも、子どもたちが利用しやすい図書館の整備を願いたい。高齢者から子どもまで、たくさんの人が訪れ、集まり、学ぶ場の中心になると期待している。	(9の回答同様)	
17	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	花見川区瑞穂1丁目を中心とした地域が図書館の整備が必要な地域とされ、花見川区役所1階の情報コーナースペースを分館候補として具体的な整備が検討されることになり、とてもうれしい。地域住民の意見も取り入れた計画の推進を望む。	(9の回答同様)	
18	第4章1 サービス拠点の整備 (15ページ)	図書館の整備が必要な地域を人口密度や利用状況などから三か所に絞り、その中で花見川区瑞穂地域への分館整備を検討するとあるが、残りの二か所はどうなるのか。次の見直しまで放置されるように見える。図書館サービスを利用することの不便さを多少なりとも軽減できるよう、何らかの対策を講じてほしい。花見川区役所の一角に新しい図書館ができて交通の便が不便で行きづらい。たとえば、 ・隣接する習志野市の大久保図書館との相互利用 ・小中学校の図書室の拡充と地域住民への利用開放など、行政間の連携の難しさや児童生徒の安全確保など課題はいろいろとあると思うが、改善に向けた検討を願いたい。	本計画は主にハード面における整備の方向性を示す計画であることから、原文のままとします。 なお、ご提示いただいた内容については、今後の図書館のサービス充実に向けた参考にさせていただきます。	

19	第4章1 サービス拠点の整備 (19ページ)	読み終えた資料を時間がなくて返却できないことは、大きな損失である。駅を利用して、返却しやすくなれば、図書館の有効利用につながる。コストはかかると思うが、ぜひ設置をお願いしたい。	(9の回答同様)	
20	第4章1 サービス拠点の整備 (19ページ)	千葉駅に返却ポストができるのはとても有難い。この調子で稲毛駅、新検見川駅など、主要な駅に返却ポストを設置すれば、多忙な学生や通勤に忙しいサラリーマンの方でも、もっと気軽に図書館を利用できる。 そのほか、 ・郵送での返却受付 ・車での移動図書館&移動回収 なども検討してほしい。	ご提示いただいた意見については、本計画に位置づけております。 今後、実施に向けて検討を進めてまいります。 なお、郵送等配達による返却は現在でも受け付けており(送料は利用者負担となります。)、移動図書館車は積載量の制約等により返却本を回収することができないことから、本項目については原文のままとします。	
21	第4章1 サービス拠点の整備 (20ページ)	公民館の運営について目下検討中とのことで、公民館図書室の運営がどのようになるか大変心配している。千葉市においても高齢化への対応は大きな課題になっており、図書館の分野でその対応法は身近で歩いていける公民館図書室の充実がまず考えられる。既存の施設の有効活用の視点からも、公民館図書室が市の直営で図書館の管轄になることが、もっとも有効な活用方法だと考える。計画案には公民館について触れられていないが、現状では公民館図書室が図書館の管轄になるのは難しいから計画に記載しないのではなく、「運営についてよりよい方向性を検討する」として公民館の項目を明記すべきだと考える。	本計画では、公民館図書室を図書館サービスを提供する拠点として、図書館と併記しています(本文3ページ)。 また、組織体制については、本計画の範疇から逸脱することから、原文のままとします。 なお、図書館サービス拠点のサービス向上については、千葉市図書館サービスプラン2010を踏まえた上で、日々の業務の中で取り組んでまいります。	
22	第4章1 サービス拠点の整備 (20ページ)	公民館図書室を計画の中の一項目として取り上げ、環境整備のさらなる向上を目指してほしい。 [理由] 公民館図書室が図書館の管轄ではない現状の中、「市内には、図書館や公民館図書室以外に」という記述は、市民には公民館図書室が図書館の管轄であるかのような誤解を招くと思われる。公民館図書室と図書館はメールカーの運行による繋がりはあるものの、公民館図書室そのものは、読書施設としての環境が整えられているとは言えない状況である。	本計画では、公民館図書室を図書館サービスを提供する拠点として、図書館と併記していますので(本文3ページ)、原文のままとします。 なお、図書館サービス拠点のサービス向上については、千葉市図書館サービスプラン2010を踏まえた上で、日々の業務の中で取り組んでまいります。	

23	第4章1 サービス拠点の整備 (20ページ)	「図書館や公民館図書室以外に」という記述では図書館と公民館図書室が同じ管轄で同等のサービスを実施している読書施設であると誤解を招く。まず公民館図書室を読書施設として整備するために、公民館図書室を図書館組織に統合し、図書館と一体化し運営することを検討してほしい。そのためには「③公民館図書室を図書館の管轄とし、更なるサービスの向上を」と別項目を設定する。③ 他の読書施設との連携は④とする。公民館図書室については図書館組織に統合し、図書館と一体化し運営することを要望する。	本計画では、公民館図書室を図書館サービスを提供する拠点として、図書館と併記しています(本文3ページ)。また、組織体制については、本計画の範疇から逸脱することから、原文のままとします。なお、図書館サービス拠点のサービス向上については、千葉市図書館サービスプラン2010を踏まえた上で、日々の業務の中で取り組んでまいります。	
24	第4章1 サービス拠点の整備 (21ページ)	コミュニティセンター図書室等は返却と予約本の受け取りポイントとする。施設にはすでに指定管理者が導入されている。連携に当たっては課題もあり十分に配慮すべきである。	コミュニティセンター図書室等との連携については、本文21ページにおいて圖書の貸出や返却に言及していることから、原文のままとします。	
25	第4章1 サービス拠点の整備 (22ページ)	「電子化が済んでいる男女共同参画センターについては返却と予約本の受け取りができるようにする。」を補記する。	男女共同参画センター情報資料センターとの連携については、本文21ページにおいて圖書の貸出や返却に言及していることから、原文のままとします。	
26	第4章1 サービス拠点の整備 (22ページ)	男女共同参画センター情報資料センターは専門資料を提供する施設であり、現在のようにそこへ行けば専門資料がまとめて利用できるのは大変ありがたいことである。したがって、専門資料が図書館とのネットワークにのってしまふと困る。連携は、図書館資料の返却・受け取りに留めてほしい。	男女共同参画センター情報資料センターとの具体的な連携内容については、ご指摘いただいた点も含めて今後の検討となりますので、原文のままとします。	
27	第4章1 サービス拠点の整備 (23ページ)	「千葉市読書環境整備計画」とするならば、本来公共図書館と学校図書館は両輪で計画されるべきだが、今回は図書館サイドのみの計画と了解している。学校図書館の整備計画が考えられて千葉市全体の読書環境が整うと思う。読書環境に大切な一方の柱である学校図書館との連携は物流など今以上の工夫が必要とされている。そのため、学校図書館との連携は、その他の読書施設の中に入れるのではなく、別項目で明記してほしい。	学校図書館が、本市の読書環境整備を考える上で重要な施設であることはご指摘のとおりです。しかしながら、学校図書館が学校教育を充実させることを目的とした施設であること、学校の安全管理上関係者以外の立ち入りが禁じられていることを考慮するに、現時点における学校図書館の読書環境整備は、図書館との連携強化が主であると考えられるため、原文のままとします。	

28	第4章1 サービス拠点の整備 (23ページ)	「その他の読書施設等との連携」として「小・中・特別支援・高等学校の図書館」の文言があるが、連携にとどまらず、学校図書館そのものの環境整備を一項目として取り上げてほしい。または、学校図書館の環境整備に関する計画を策定してほしい。 [理由] 学校図書館は、子どもたちにとって最も身近な読書場である。この計画は「千葉市読書環境整備計画」という市全体の読書環境整備計画でありながら、学校図書館についての盛り込みが不十分である。	(27の回答同様)	
29	第4章1 サービス拠点の整備 (23ページ)	「館種の違う図書館を交えた」の後に、「千葉市図書館情報ネットワーク協議会において」を挿入する。	市内には千葉市図書館情報ネットワーク協議会に加盟していない読書施設もあることから、原文のままとします。	
30	第4章2 ICTの利活用 (25ページ)	「無線LAN サービスの提供」を検討することは良いと思う。ただし、図書館の目的は蔵書を読むことであり、WiFiは必要なのか。子ども達が、図書館で勉強するときにインターネットは有効だろうが、本来の目的のためには必要なのか。タブレットなどの電子書籍を使用するためには必要なので、適切な利用制限を講じた整備は良いと思う。 また、図書館の周辺でWiFiが利用できるようにすることには賛成である。図書館には千葉市のインフラとしてネットワークが整備されているので、その資産を有効に活用し、市民サービスや防災の機能として活用すべきと思う	図書館は利用者が情報を得るための施設であり、インターネットは情報を得るための重要なツールであることから、館内における無線LAN環境の整備は必要と考えております。 なお、本計画は読書環境の整備を目的としたものであることから、施設外における公衆無線LANの考え方や整備の方針については言及しません。	
31	第4章2 ICTの利活用 (25ページ)	インターネット利用環境を早急に整備し、次に国立国会図書館が公共図書館向けに配信する資料等の閲覧や有料データベースをといた場合に優先順位をつけて示してほしい。	ICT 進展の速度は目覚ましいため、現時点におけるスタンダードが事業実施時には陳腐化してしまうおそれがあるなど、将来予測は極めて困難です。 本計画に掲げた取り組みについても、時点における最新の ICT 動静や利用者のニーズに柔軟に対応する必要があることから、優先順位等は設定せず原文のままとします。	
32	第4章2 ICTの利活用 (26ページ)	電子図書館として書籍のデジタルデータ化を推進し、利用者が図書館に行かなくても本、教育用ビデオ等を借りたり、返却できるようになるととても便利だと思う。	(9の回答同様)	

33	第4章2 ICTの利活用 (27ページ)	表にある取り組みに優先順位を示し、「段階的に着手する旨」を欄外に補記する。	ICT 進展の速度は目覚ましいため、現時点におけるスタンダードが事業実施時には陳腐化してしまうおそれがあるなど、将来予測は極めて困難です。 本計画に掲げた取り組みについても、時点における最新の ICT 動静や利用者のニーズに柔軟に対応する必要があることから、優先順位等は設定せず原文のままとします。	
34	第4章3 既存施設の機能更新等 (29ページ)	自動出納書庫に保存する基準を明確にし、一部電子化、分担保存などを考え、減量化を図る。他との連携、協力をさぐって検討する。	本文において、効率的な運用を進めること、電子書籍の導入を検討することについて言及していますので、原文のままとします。	
35	第4章3 既存施設の機能更新等 (30ページ)	現在、図書館は月曜日が休館日になっているが、小学校や中学校など学校の代休は月曜日がほとんどである。最近の学校は、土曜日が休みのため平日は5時間目までであるのが当たり前、6時間の日もある。そのため、平日はゆっくりと図書館に行く時間はない。代休のような時こそ、ゆっくりと図書館で過ごせると思うのに、図書館が開いていない。ぜひ、月曜日の開館を考えてほしい。 また、公民館図書室や地区図書館の閉館時間が早いいため、学校が終わってから本を借りに行くのも難しいのが現状である。ぜひ、6時ぐらいまで開館してほしい。	(9の回答同様)	
36	第4章3 既存施設の機能更新等 (30ページ)	開館日及び開館時間の拡大をぜひ進めてほしい。特に、閉館が5時15分では、学校が終わってから子どもたちが図書館に行くことはなかなか難しい。	(35の回答同様)	
37	第4章3 既存施設の機能更新等 (31ページ)	「全図書館の月曜休館のあり方や地区図書館及び分館の開館時間の延長など他の取り組みについても、実施の方向性や方法などについて検討します」の「検討します」の前に「早急に」を加えてほしい。 [理由] 月曜日は学校が代休になることが多いため、図書館が開館していれば、子どもたちがゆったりとした気持ちで本に親しむことができると思う。また、「地区図書館及び分館の開館時間の延長」についても早急な検討が必要である。現在は小学校低学年でも毎日5時間授業があり、小学校高学年や中・高校生に至っては平日、図書館に行くことができる時間帯はごくわずかである。午後6時ぐらいまで開館していれば、子どもたちがもっと利用できるようになると思う。	本計画は、本市における今後の読書環境整備の方向性を示すものであり、各取り組みの実施に当たっては、市の実施計画に位置付けた上で実施するものとしております。 したがって、本計画内において、各取り組みの実施時期に言及することは適切でないことから、原文のままとします。	

38	第4章3 既存施設の機能更新等 (31ページ)	月曜休館のあり方を全図書館で検討することは望ましいことである。	(9の回答同様)	
39	第4章3 既存施設の機能更新等 (31ページ)	<p>子育て世代や高齢者に配慮した利用環境の設備や、障害に配慮した施設設備として施設のバリアフリー化があげられているが、病気の人に対する配慮も必要と思われる。サービスプランにもあるとおり、バリアフリー化はさまざまな事情を抱えている方にとってなくてはならない課題である。特に足の不自由な方から見ればエレベーターの設置や段差の解消は必要である。しかし、世の中には呼吸器系の疾患など外見ではわからない病気を抱え、苦勞をしている方もいる。そのような方でも安心して図書館を利用できる施設作りも必要である。</p> <p>今回の千葉市読書環境整備計画(案)に図書館・図書室の敷地内全面禁煙化について一文を追加し、病気を患っている人へのバリアフリー化を推進し、誰もが安心して利用できる図書館・図書室ができればよいと思う。</p>	<p>敷地内禁煙化についてはソフト施策になりますので、本計画は主にハード面における整備の方向性を示す計画であることから、原文のままとします。</p> <p>なお、ご提示いただいた内容については、今後の図書館のサービス充実に向けた参考にさせていただきます。</p>	

千葉県読書環境整備計画

市民に身近で利用しやすい
図書館サービスの提供を目指して

平成26年3月

千葉県／千葉県教育委員会

目 次

第 1 章 計画策定の趣旨

- 1 計画策定の背景と目的 …………… 1
- 2 計画の位置づけ …………… 2

第 2 章 図書館の現状と課題

- 1 図書館の現状 …………… 3
 - (1) サービス拠点 …………… 3
 - (2) 休館日及び開館時間 …………… 4
- 2 図書館の抱える課題 …………… 6
 - (1) 図書館を取り巻く環境の変化に起因するもの …………… 6
 - (2) 市民ニーズの多様化・複雑化に起因するもの …………… 8
 - (3) 施設や設備の老朽化等に起因するもの …………… 10

第 3 章 課題解決に向けた考え方

- 1 課題解決の視点と基本的な考え方 …………… 13
- 2 資産経営の基本的な考え方を踏まえた検討 …………… 14

第 4 章 読書環境整備の考え方と方向性

- 1 サービス拠点の整備 …………… 15
 - (1) 図書館の整備が必要な地域と整備の考え方 …………… 15
 - (2) 返却ポストの設置 …………… 19
 - (3) 他の読書施設との連携 …………… 20
- 2 ICTの利活用 …………… 24
 - (1) ICTの進展と今後の活用 …………… 24
 - (2) ICT利活用の具体的取り組み …………… 25
- 3 既存施設の機能更新等 …………… 28
 - (1) 既存施設の機能更新 …………… 28
 - (2) 開館日及び開館時間の拡大 …………… 30
 - (3) 千葉市図書館サービスプラン2010との関連施策・事業 …… 31

<巻末資料>

第1章 計画策定の趣旨

1 計画策定の背景と目的

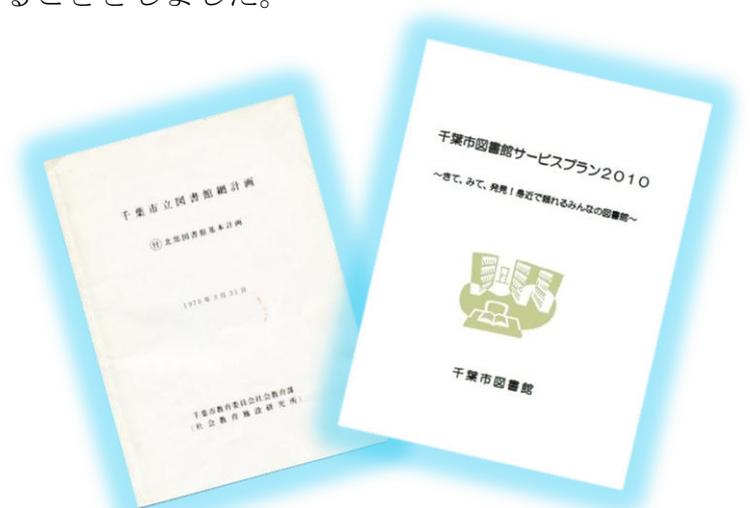
千葉市の図書館は、昭和45年に策定した千葉市図書館網計画（以下、「図書館網計画」という。）に沿い、これまで順次整備を進め、現在、中央図書館を中核に地区図書館6館、分館7館、移動図書館車1台（27ステーション）のほか公民館図書室21室との綿密な連携により「どこでも借りられ、どこでも返せる」図書館サービスを提供しています。

しかし、計画策定から40年余りが経過し、市全体の人口は、約96万人と概ね計画で想定した100万人となっているものの、政令指定都市への移行や交通網の発展等により、人口の分布は計画の想定とは異なってきています。

また、人口減少社会の到来や少子超高齢化の進展、急速な社会経済情勢の変化に伴う市民ニーズの多様化・複雑化など、図書館を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした環境の変化に対応し、ソフト面で今後の図書館サービスの取り組むべき方向性を明らかにした「千葉市図書館サービスプラン2010」を、平成22年に策定しサービスの向上に努めてきました。

しかし、さらなる図書館サービスの向上とより良い読書環境を市民に提供するためには、ハード面での環境整備が欠かせないことから、本計画を策定し、今後の整備の方向性を明らかにすることとしました。



2 計画の位置づけ

本計画策定にあたり、図書館や移動図書館ステーション及び公民館図書室など図書館サービスを提供するための拠点（「サービス拠点」という。）のあり方やカバーする地域など、基本的には図書館網計画の考え方を踏襲することとしました。

本計画では、図書館サービスの拠点の検討を進めるとともに、近年、図書館に求められている「日々進展するICT^{*1}」への対応など、図書館網計画策定当時には想定できなかった、主にハード面における整備の方向性を検討します。

また、これまでに整備したサービス拠点についても、人口減少社会の到来や少子超高齢化の進展という新たな要素を加え、施設や設備のあり方や老朽化対策などを検討します。

これにより、平成22年に策定した主にソフト面において図書館が取り組むべきサービスの方向性を示した『千葉市図書館サービスプラン2010』（以下「サービスプラン」という。）と併せ、時代の変化に呼応し市民により良い読書環境を提供していくための、ソフト・ハード両面の計画が揃います。

本計画の計画期間は、平成26年度からの5年間とし、ICTの大幅な進展など社会経済情勢の変化があった場合は、適宜見直しを図ることとします。

なお、本市の財政状況は極めて厳しい状況にあることから、本計画で示した取り組みの実施にあたっては、「資産経営基本方針」の基本的な考え方（14ページ参照）を踏まえ、施策・事業を市の実施計画に位置付けた上で進捗を図っていくこととします。

《千葉市図書館網計画に基づくサービス拠点の考え方》

図書館網計画における想定			現在のサービス拠点		
区分	館数	サービス地域	区分	拠点数	サービス地域
中央情報センター	1館	市全域（※）	中央図書館	1館	（半径2km）
地区館	6～8館	交通機関利用10分	地区図書館	6館	半径2km
住区図書館	32館	半径1.5km	分館	7館	半径1.5km
			公民館図書室	21館	半径1km
移動図書館	図書館未設置地域を補完する		移動図書館	27拠点	—

※貴重資料の保管や他館の支援を専門的に行い、直接的な利用者サービス（図書の貸出等）は行わない想定でした。



*1 ICT：Information and Communication Technology の略、情報処理および情報通信

第2章 図書館の現状と課題

1 図書館の現状

(1) サービス拠点

現在、サービス拠点は、中央図書館を中核に地区図書館6館、分館7館、移動図書館車1台、公民館図書室21室で構成され、各拠点を図書資料の搬送を行う物流ネットワークで結び「どこでも借りられ、どこでも返せる」図書館サービスを提供しています。

《図書館・公民館図書室配置図》



《移動図書館ステーション配置図》



(2) 休館日及び開館時間

ア 図書館

平成13年4月に開館した中央図書館は、祝日開館や平日の夜間開館を実施していますが、地区図書館及び分館は実施していません。

《図書館の休館日と開館時間》

	中央図書館	地区図書館及び分館
休館日	月曜日（その日が国民の祝日に当たるときは、その日の翌日（その日が5月4日又は5月5日であるときは、5月6日））	月曜日 国民の祝日（その日が月曜日に当たるときは、その日の翌日）
	年末年始（12月29日～1月4日）	
	図書整理日（第3木曜日、ただし祝日の場合は翌日）	
	特別整理期間	
開館時間	火～金：午前9時30分～午後9時 土・日・祝日：午前9時30分～午後5時30分	午前9時～午後5時15分 ※土気図書室の開館時間は、火・水・土曜日の午後1時～午後5時15分

イ 移動図書館

市内27か所のステーションを月2回の頻度で巡回しています。

《移動図書館の休館日と開館時間》

休館日	日曜日、月曜日
	国民の祝日
	年末年始（12月29日～1月4日）
	特別整理期間
開館時間	各ステーションを月2回の頻度で巡回。滞在時間は1か所あたり1時間程度。

ウ 公民館図書室

市内の公民館47館のうち21館に公民館図書室を設置し、図書館サービスを提供しています。

《公民館図書室の休館日と開館時間》

休館日	年末年始（12月29日～1月3日）
	図書整理日（第3木曜日、ただし祝日の場合は翌日）
	特別整理期間
開館時間	午前9時45分～午後5時

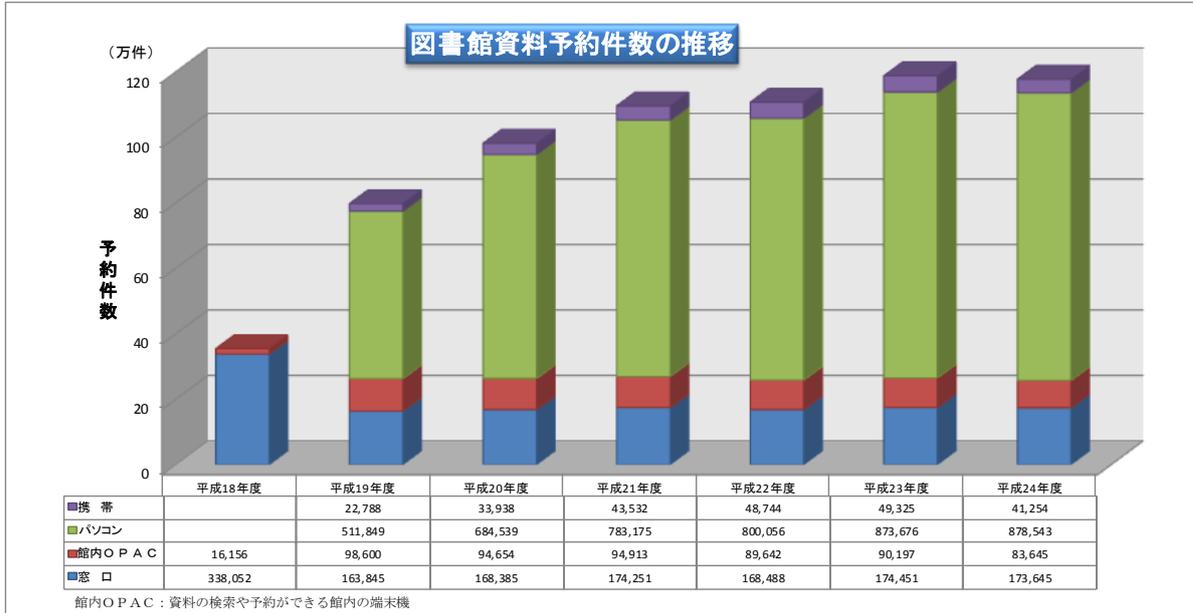
(3) 図書館システム

昭和63年にコンピュータシステムを導入し、以後、主に内部事務の効率化のため、市内のサービス拠点に順次システムの導入を行いました。

その後、平成13年に中央図書館を中心とした図書館システムを構築し、資料の物流ネットワークの整備と合わせ、「どこでも借りられ、どこでも返せる」サービスを開始するなど市民サービスの向上を図りました。

千葉市読書環境整備計画

また、平成13年2月には図書館ホームページを開設し、インターネットを通じた情報発信を開始しました。さらに、19年4月には、図書館に来館することなく利用者自らが資料の予約や延長を行うことができるサービスの提供を開始しました。



その後、平成24年3月には要望の多かった上中下巻等で構成されるシリーズ本の順番予約の機能など様々なコンテンツを追加・拡充し、ホームページをリニューアルしたほか、25年7月には、読んだ本の履歴や気になる本のタイトルをリスト化して保存する「マイライブラリー」機能を追加するなど、利用者の利便性の向上に努めています。

千葉市図書館 CHIBA City Library 大人向け | こども向け | English

検索トップ > マイライブラリー

ジャンル検索 分類検索 詳細検索 予約ベスト 新着資料 テーマ資料

貸出状況確認・延長(0件) 予約状況確認・取消(図書・雑誌・紙芝居:0件,CD・0件,カセット・0件,ビデオ・DVD:0件) マイブックリスト(1件) マイライブラリー 利用カードの有効期限:2016/09/16

ログイン中です ログアウト

マイライブラリー [マイライブラリーの使い方](#)

コンテンツの追加

テーマ一覧
テーマ: 村上春樹シリーズ
◆ and other stories 村上春樹/ほか訳
◆ アンダーグラウンド 村上春樹/[著]
◆ アフターダーク 村上春樹/[著]
◆ 1Q84[関係字] BOOK1 村上春樹/[著]

貸出の状況
◆ 現在、貸出されている資料はありません。

予約の状況
◆ 現在、予約されている資料はありません。

マイブックリスト 使いかた
◆ 読みたい絵本のリスト

新着図書お知らせメールサービス 使いかた
◆ 図書館の本

新着資料一覧
カテゴリ: 総記(コンピュータ(ソフト)など)
◆ IT時代の震災と核被害 コンピュータ・テク/ロジ-編集部/編
◆ ITナビゲーター 2012年版 野村総合研究所ICT・メディア産業コンサルテ...
◆ iWork for iPad Perfect Manual 大重 美幸/著
◆ 赤木かんの図書館員ハンドブック 赤木 かん子/著
◆ あなさんの人生が輝く主婦のための手帳術 浅倉 ユキ/[著]
◆ 池上彰の新聞活用術 池上 彰/著
◆ 一般意志2.0 東 浩紀/[著]
◆ いつもそばに本が 田辺 聖子/[ほか]著
◆ 伊藤まさこの雑食よみ 伊藤まさこ/著
◆ 美しい書物 橋折 久美子/[著]

図書館カレンダー
中 央:2013年4月
日 月 火 水 木 金 土
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30
切替: 中央
休館日 イベント開催日

利用者情報メンテナンス
◆ パスワード変更
◆ パスワード削除
◆ メールアドレス登録・変更・削除

2 図書館の抱える課題

本市は、昭和47年の北部図書館（現稲毛図書館）の開館を皮切りに、高度成長期や政令指定都市への移行を経て、平成13年の中央図書館の開館とその後の2分館の整備により現在の図書館サービス体制を整えました。

しかし、人口分布の変化や人口減少社会の到来、少子超高齢化の進展、急速な社会経済情勢の変化に伴う市民ニーズの多様化・複雑化、ICTの進展など、図書館を取り巻く環境が大きく変化していることから、図書館の抱える課題について再度整理する必要があります。

そのため、その要因を「図書館を取り巻く環境の変化に起因するもの」、「市民ニーズの多様化・複雑化に起因するもの」、「施設や設備の老朽化等に起因するもの」に分けて抽出し、良好な読書環境整備を進めるうえでの検討すべき課題とします。

(1) 図書館を取り巻く環境の変化に起因するもの

人口分布の変化や人口減少、少子超高齢化、ICTの進展、厳しい財政状況など、図書館を取り巻く環境の変化への対応が求められています。

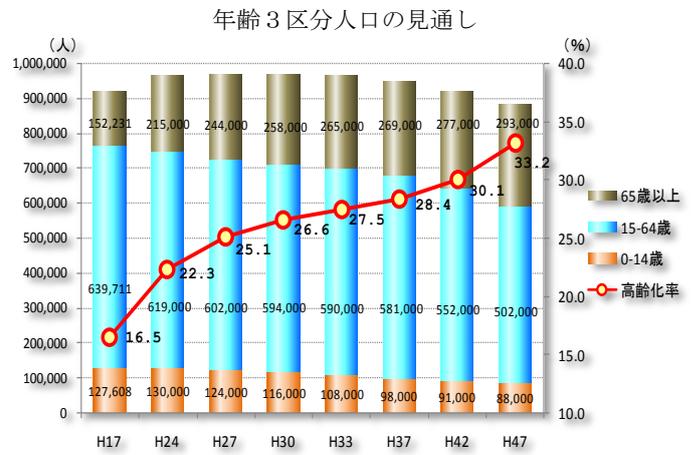
●人口分布の変化や人口減少、少子超高齢化への対応

政令指定都市への移行や交通網の発展等により、本市の人口分布は図書館網計画策定時から大きく変化しました。

また、人口は平成27年をピークに緩やかに減少し、65歳以上の高齢者人口が増加を続ける一方で年少人口（15歳未満）や生産年齢人口（15～64歳）は減少を続け、超高齢社会が一層進展する見通しです。



(資料：千葉市新基本計画)



(資料：千葉市新基本計画)

千葉市読書環境整備計画

こうした状況に対応し、身近で快適に図書館をご利用いただくためには、現在の人口分布に応じたサービス拠点の整備やエレベータの設置、段差の解消等のバリアフリー化を進めていく必要があります。

図書館の主なバリアフリー化の状況

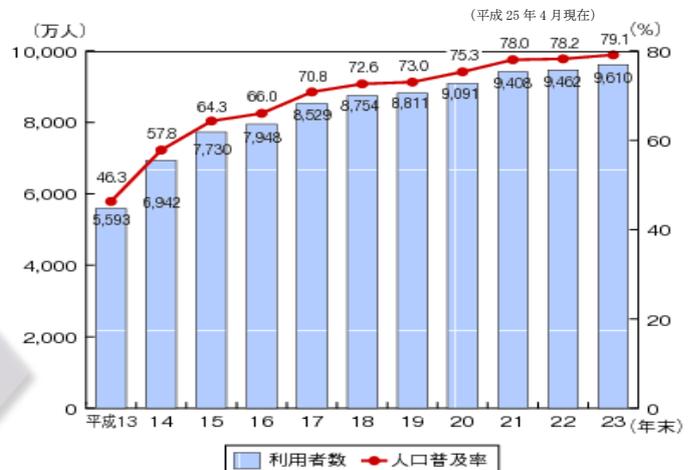
図書館名	エレベータ 有無	段差の解消 (スロープ)	利用者用トイレ			授乳室
			洋式	多用途用	オストメイト	
中央図書館	○	—	○	○	○	○
みやこ図書館	○	—	○	○	×	×
白旗分館	×	×	○	×	×	×
花見川図書館	×	○	○	×	×	×
花見川団地分館	○	—	○	○	○	×
稲毛図書館	○	○	○	○	○	×
若葉図書館	×	×	○	×	×	×
西都賀分館	×	×	×	○	×	×
泉分館	—	—	(○)	(○)	(○)	×
緑図書館	○	—	○	○	(○)	×
あすみが丘分館	(○)	○	○	×	×	×
土気図書室	×	×	○	×	(○)	×
美浜図書館	—	(○)	(○)	(○)	(○)	(○)
打瀬分館	○	—	○	○	○	×

※ (○) は、図書館内ではないが、同一建物内に設備を有するもの。

● ICTの進展（インターネット、電子書籍、タブレット等）への対応

インターネットの利用者数は、年々増加しており、人口普及率は約8割に達しています。また、インターネットを通じた電子書籍の流通が進みつつあり、パソコンだけでなく、近年著しく普及が進んでいるタブレットやスマートフォンで閲覧されることが多くなっており、利用環境の整備が求められています。

インターネット人口
普及率の推移



(出典：総務省「平成23年通信利用動向調査」)

●市の財政状況の考慮

本市では、政令指定都市移行に伴う都市基盤整備等を主に市債発行により進めてきました。

そのため、市債発行残高が高い水準で推移することとなり、平成21年10月、この財政危機を乗り越え、安定した収支バランスを確保するための「脱・財政危機宣言」を発し、市民と市が協力して取り組む必要があることを宣言するとともに、財政危機を脱するため、「財政健全化プラン」を策定し、市債残高や実質公債費比率^{※2}等の抑制に取り組んでいます。

こうした状況を踏まえ、本計画の策定においても、市の財政状況を考慮することとします。



(資料：公債費負担適正化計画(平成23年9月))

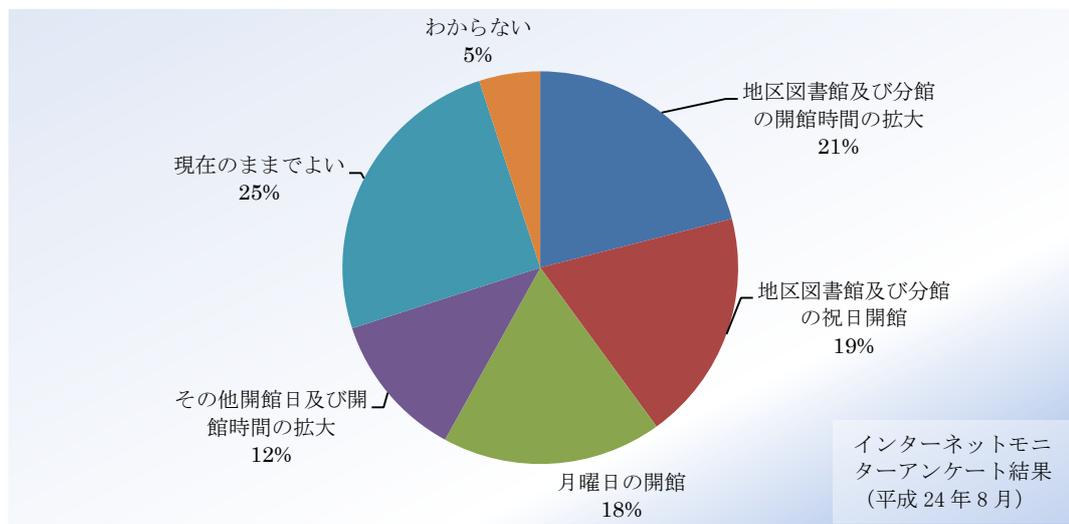
^{※2} 地方公共団体が借金返済にあてている金額が、収入に対してどのくらいの割合を占めているのかを表したものの。

(2) 市民ニーズの多様化・複雑化に起因するもの

生活様式の変化やICTの進展等により、市民ニーズが多様化・複雑化しており、平成24年8月に実施したインターネットモニターアンケート結果においても、開館時間の延長や電子図書館サービスなど、新たなサービスの提供が求められています。

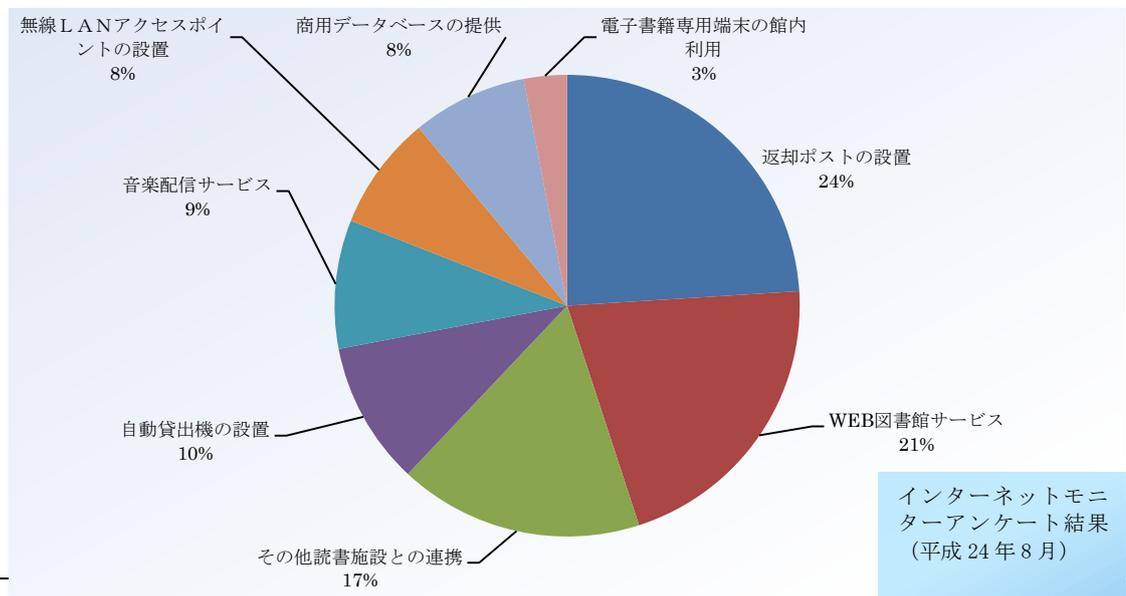
●図書館の開館日及び開館時間の拡大に関する要望

「現在のままでよい」という回答が多かったものの、「地区図書館及び分館の開館時間の拡大」、「地区図書館及び分館の祝日開館」、「月曜日の開館」の順で、開館日及び開館時間の拡大が求められています。



●図書館に導入してほしいサービス

図書館に来館しなくても図書の返却ができる「返却ポストの設置」、「WEB図書館サービス」・「無線LANアクセスポイントの設置」等のICTの進展への対応、コミュニティセンター等の「その他読書施設との連携」などが求められています。



(3) 施設や設備の老朽化等に起因するもの

供用開始から40年余りが経過した施設もあり、これらの施設では建築物や設備の老朽化が進んでいるため、計画的な修繕等の適切な対応が求められています。また、中央図書館においては、平成30年度に自動出納書庫^{※3}の容量が不足する見込みであることから、的確に対応する必要があります。

【図書館現有建築物の供用開始年月等】

図書館名	供用開始年月	構造	建物管理主体
中央図書館	平成13年4月	鉄筋コンクリート一部鉄骨 地上3階地下2階建	生涯学習振興課
みやこ図書館	平成元年11月	鉄筋コンクリート 3階建	みやこ図書館
白旗分館	昭和48年11月	鉄筋コンクリート 3階建	南部青少年センター
花見川図書館	昭和53年5月	鉄筋コンクリート 2階建	花見川図書館
花見川団地分館	平成17年4月	鉄筋コンクリート一部鉄骨 2階建	花見川図書館
稲毛図書館	平成9年4月	鉄筋コンクリート 3階建	稲毛図書館
若葉図書館	昭和49年8月	鉄筋コンクリート 2階建	若葉図書館
西都賀分館	昭和55年10月	鉄筋コンクリート 3階建	若葉図書館
泉分館	平成18年3月	鉄筋コンクリート一部木造 平屋建	白井公民館
緑図書館	平成12年4月	鉄筋コンクリート 3階建	鎌取コミュニティセンター
あすみが丘分館	平成5年5月	鉄筋コンクリート 3階建	土気あすみが丘プラザ
土気図書室	昭和49年11月	鉄筋コンクリート 2階建	土気地区市民センター
美浜図書館	昭和55年11月	鉄筋コンクリート 平屋建	高洲コミュニティセンター
打瀬分館	平成14年4月	鉄筋コンクリート一部鉄骨 2階建	打瀬公民館

※3 年々増え続ける大量の図書館資料をコンピュータ制御により効率よく収納保管し、利用者の閲覧・貸出要望のあった資料を迅速に自動で出し入れする閉架書庫。

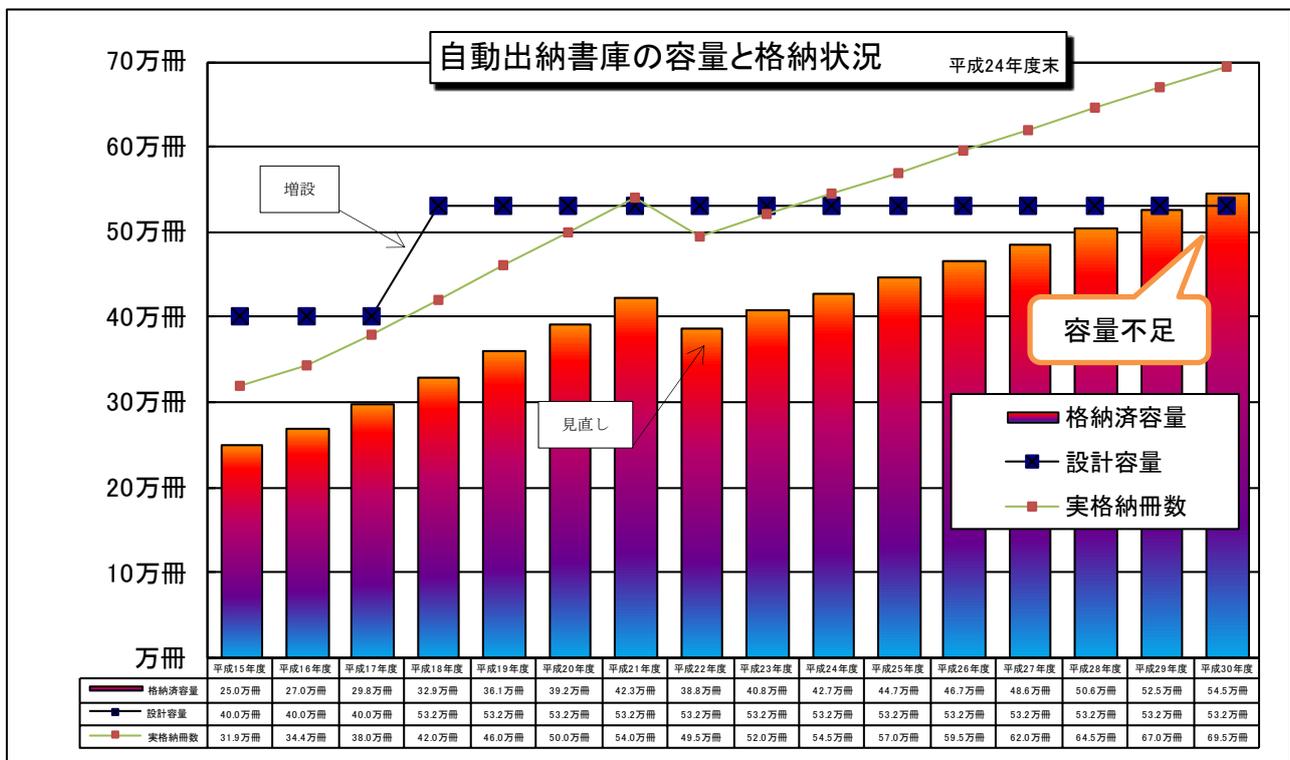
これにより、保管スペースの効率が向上するとともに、閉架書庫に関わる出納業務や配架作業、蔵書点検などを自動化でき、省力化や資料の有効活用等が図れる。

千葉市読書環境整備計画

●蔵書数の増加に伴う自動出納書庫の容量と格納状況（中央図書館）

平成13年4月の中央図書館の開館時は約40万冊の容量でしたが、平成19年3月に約13万冊分の増設を行い現在は約53万冊となっています。

また、平成22年には、格納されている資料の見直しを行い、空き容量を増やしましたが、平成30年度には、再び増設が必要となる見込みです。



※格納済容量と容量不足の推計：実際に格納されている資料数（実格納冊数）は、平成21年度時点で設計時の容量である設計容量（約53万冊）を超えていますが、実際は、まだ空き容量があります。これは、実際に格納されている資料の厚さが、設計時に想定した厚さよりも薄いためです。このため、設計時の厚さと実際に格納されている資料の厚さを比較し、実際に格納されている資料により占有されている容量を格納済容量として求め、実際に容量不足が発生する時期を推計しています。

●千葉県図書館サービスプラン2010との関連施策・事業

「千葉県図書館サービスプラン2010」で掲げた施策・事業項目のうち、インフラ等のハード的整備を伴う施策・事業について、必要となる整備を分類し本計画の検討項目とします。

サービスプラン 施策・事業項目No.	サービスプランでの展開の方向	本計画における検討項目	
		分類	内容
14 資料の管理	無断持ち出しや未返却による資料亡失を減らすための対策を講じます。	I C T	I C タグ ^{※4}
		機能更新	無断持出防止装置 (一部実施済み)
23 有料データベースの利用	職員が情報提供のために利用できる有料データベースを増やします。	I C T	有料データベース ^{※5}
24 電子図書等の収集と提供	電子図書や電子雑誌等の状況を調査し、図書館での閲覧、貸出等の提供について検討します。	I C T	電子図書館
25 館内LAN環境の整備	公衆無線LAN環境の整備	I C T	公衆無線LAN
27 インターネット上の情報利用端末機や有料データベースの利用	利用者用インターネット端末機器の設置や有料データベースへのアクセス利用を検討します。	I C T	有料データベース インターネット端末
50 子育て世代や高齢者に配慮した利用環境の設備	施設のバリアフリー化、ベビーカー、車椅子、老眼鏡・拡大鏡等の設置、授乳場所、親子で閲覧できる場所や優先席の配慮など利用しやすい環境整備に努めます。	I C T	タブレット 電子書籍
		機能更新	バリアフリー
54 障害に配慮した施設設備	施設のバリアフリー化をすすめ、車椅子用閲覧机、拡大読書機や音声読み上げ機を整備します。	I C T	タブレット 電子書籍
		機能更新	バリアフリー
66 図書館資料受け渡し場所の拡大検討	図書館資料の受け取りと返却の利便性を高めるため、図書館以外での、受け渡し場所の設置について、検討します。	機能更新	返却ポスト設置
68 開館日及び開館時間の検討	地域の実情に即し、開館日、開館時間の拡大や変更について検討します。	機能更新	開館日及び開館時間
76 千葉県に関する新聞記事の検索提供	千葉県に関する新聞記事をその内容から検索、提供できるようにします。	I C T	有料データベース
81 子ども向け地域資料の収集と提供	子ども向けの地域資料の収集に努め、図書館ホームページ等からの紹介を行います。	I C T	電子図書館 郷土情報のデジタル化
82 千葉市の貴重資料の電子情報化	千葉県図書館が所蔵する貴重資料について、著作権に配慮しながら、電子情報化し、ホームページから閲覧できるようにします。	I C T	電子図書館 郷土情報のデジタル化
107 親子で閲覧できる環境の整備	子ども室など、親子がくつろいで本に親しむ環境の整備を図ります。	機能更新	バリアフリー
145 国立国会図書館資料の借用提供	国立国会図書館資料利用規則に沿って資料を借用し館内で閲覧提供します。	I C T	電子図書館 インターネット端末
168 市内類縁機関との連携・協力	市内の資料貸出施設と連携して、市民の利用の促進、資料の相互協力等について検討します。	拠点整備	他の読書施設との連携

※4 電波を受けて働く小型の電子装置の一つで、現在資料に貼り付けているバーコードラベルに代わるもの

※5 有料の情報提供サービス（新聞記事や企業情報などのデータが閲覧できる）

第3章 課題解決に向けた考え方

1 課題解決の視点と基本的な考え方

市民により良い読書環境を提供していくため、第2章における図書館を取り巻く様々な課題を3つの視点で整理し、課題解決に向けた基本的な考えをまとめ、これにより、今後の読書環境整備の方向性を明確にします。

I サービス拠点の整備

身近に図書館や公民館図書室が無く、図書館サービスの利用が困難である地域をできる限り解消することを目指します

- ・人口分布を踏まえ、将来予測される人口減少社会の到来も念頭に、図書館の整備が望まれる地域を明確にします
- ・資産の有効活用の観点から、既存施設の活用を検討します
- ・読書環境が整備された施設・団体等との連携の拡充を検討します

II ICTの利活用

ICTの進展に対応し、電子化された情報を利用者が直接利活用できるよう、図書館の電子化を積極的に進めます

- ・インターネットや電子書籍など、電子化された情報を利用者に提供するための環境整備を図ります
- ・ICTを活用した、高齢者・障害者サービス拡充について検討します
- ・郷土資料のデジタル化と提供を積極的に進めます

III 既存図書館の機能更新等

施設の修繕を的確に行うとともに、既存図書館の機能向上を目指します

- ・中長期保全計画に基づき施設の老朽化への対応を的確に行います
- ・開館日・開館時間の拡大等を積極的に進めます
- ・インフラ等の整備を積極的に進めることにより「千葉市図書館サービスプラン2010」の推進を図ります

2 資産経営の基本的な考え方を踏まえた検討

千葉市では、高度経済成長期の人口急増対策として整備した施設を多数保有していますが、現在、所期の目的を終えた余剰施設が生じつつあり、今後、この傾向は、人口減少に伴う施設ニーズの総量としての縮小や、少子超高齢化などに伴う個別ニーズの変動により、さらに顕在化すると見込まれています。

また、現在直面している極めて厳しい財政状況を克服するとともに、今後大きな経済成長を見込むことが難しい中で、自立した都市経営を安定的に行うためには、施設等の資産について、売却・貸付・統合などを含む、一層の有効活用を図るとともに、施設の保全について、長寿命化や改修費用の縮減などの最適化を図ることが求められています。

このようなことから、本計画においては、資産経営の基本的な考え方を踏まえ、拠点整備をはじめ既存図書館の機能更新等を検討します。

資産経営の基本的な考え方

1 資産の効率的な利用を進める

・世代構成の変化やその他の社会経済情勢の変化に伴う、施設の利用状況などの現状と見通しを的確に踏まえながら、異なる用途の共同利用などの複合化や、複数施設の集約化などの効率的な利用を進めます。

2 資産総量の縮減を進める

・将来の人口減少に伴い、今後、施設ニーズの総量が減少に転じる見通しであることから、効率的な利用を図ったうえで余剰となる施設については、処分（売却等）などを行い、資産総量の縮減を進めます。

3 計画的な保全による施設の長寿命化を進める

・引き続き活用する資産については、施設全体に関する財政負担を中長期的な視点から縮減するため、計画的な保全を推進し、施設の長寿命化を進めます。

・計画的な保全にあたっては、建物のライフサイクルコストに基づく中長期的な財政負担を踏まえた改修・修繕予算の確保と、その効率的な配分を行います。

・また、老朽化対策や、耐震・バリアフリー・環境などの機能改善を適切に行います。

（資料：千葉市資産経営基本方針）

第4章 読書環境整備の考え方と方向性

本章では、第3章で整理した課題解決の視点に基づき、読書環境整備の考え方と方向性について順次検討します。

1 サービス拠点の整備

(1) 図書館の整備が必要な地域と整備の考え方

●図書館の整備が必要な地域の特定

図書館網計画では図書館の整備については、人口集中地域に整備するとしており、本計画においても、まずは人口が集中している地域を特定し、次にその近辺のサービス拠点の整備状況から図書館の整備が必要な地域を特定することとします。

そのため、本市の町丁別の人口密度を示した地図を作成し、図書館網計画の考え方に基づくサービス提供範囲の円を重ね合わせ、人口密度が高く、近くに図書館及び公民館図書室がない地域を洗い出し、さらに移動図書館の利用状況を考慮し、分析しました（次頁参照）。

その結果、1ha当たりの人口密度が100人以上で該当する地域は、

- ・花見川区瑞穂2丁目（339人/ha）
- ・花見川区幕張本郷5丁目・7丁目（108人/ha・166人/ha）
- ・若葉区若松台3丁目（103人/ha）

の3か所であることがわかります。

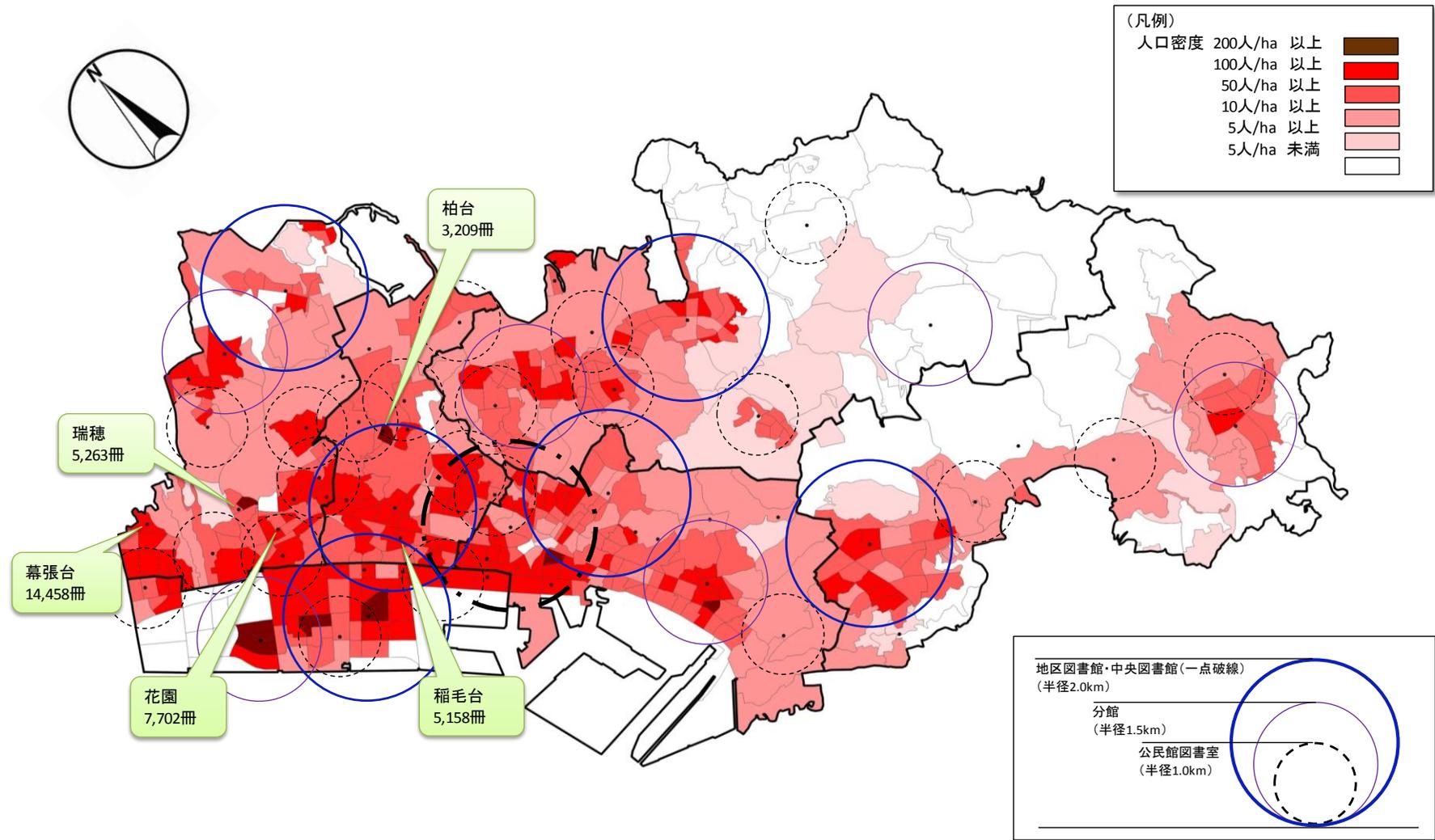
また、これらの地域にそれぞれ分館規模の図書館（サービス提供範囲：半径1.5km）を整備した場合を想定し、これにより新たにサービス提供範囲に含まれることになる地域の人口を比較すると次のとおりとなります。

《新たにサービス提供範囲に含まれることになる人口》

想定地域	新たにサービス範囲に含まれる人口（※）
瑞穂	約13,000人（瑞穂1～3丁目等）
幕張本郷	約7,800人（幕張本郷4～7丁目等）
若松台	約3,100人（若松台1～3丁目等）

※既存の図書館及び公民館図書室のサービスの提供範囲からは外れた地域で、想定地域に分館整備したと仮定した場合、新たに図書館サービスの提供範囲に含まれることになる地域の人口の合計。

《人口分布と図書館サービス提供範囲及び移動図書館の貸出冊数（平成 25 年 3 月 31 日時点）》

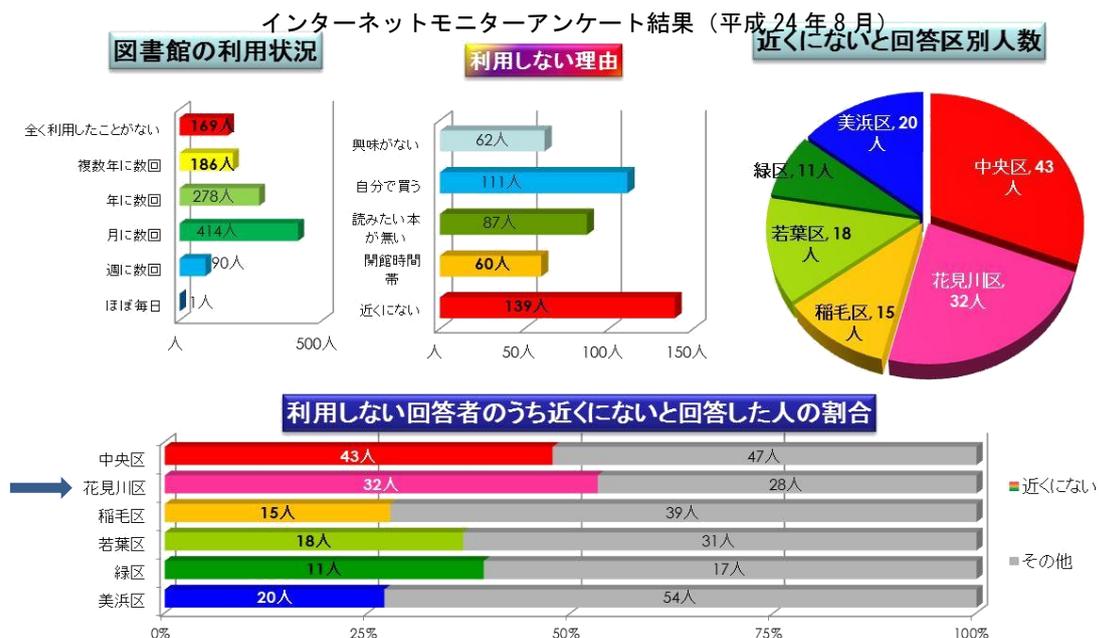


現在これらの地域には移動図書館ステーションを設置していますが、いずれも全ステーションの平均を大きく超える利用があり、特に花見川区の幕張台ステーションと瑞穂ステーションは移動図書館の貸出冊数上位3位に入っています。

これらのことから、現在最も図書館の整備が必要な地域は、花見川区瑞穂1丁目を中心とした地域であり、第2次5か年計画の見直し中で先送りとした同地域への分館整備について、その必要性が改めて確認できました。

そのため、同地域への分館整備の検討を進めることとし、他の図書館カバーエリアに入っていない他の地域については、将来的な人口減少社会の到来や大変厳しい市の財政状況を踏まえ、花見川区瑞穂地域の分館整備に併せ、移動図書館のステーション設置場所を柔軟に見直すことにより、より綿密なサービスの提供を目指すこととします。

また、平成24年8月に実施したインターネットモニターアンケート結果でも、「図書館が近くにないため利用しない」とした回答者の割合は、花見川区が一番多くなっていることから、図書館の潜在的利用者が多いものと考えられ、新たな分館整備により利用者の大幅増につながることを期待できます。



《花見川瑞穂地域への分館整備の候補地について》

図書館分館を整備するにあたり、資産経営の考え方を踏まえると、新たな用地の取得や施設の新築は非常に困難です。

そのため、第2次5か年計画で整備を位置付けていた、現在、花見川区役所1階の情報コーナーとして利用されているスペースを候補として具体的な整備を検討することとします。

これにより、既存施設の有効利用が図れるほか、区役所への来庁者の待ち時間での利用や地域の活性化につながる効果も期待できます。

花見川区役所



《花見川区役所内の分館整備候補とした情報コーナーの状況》

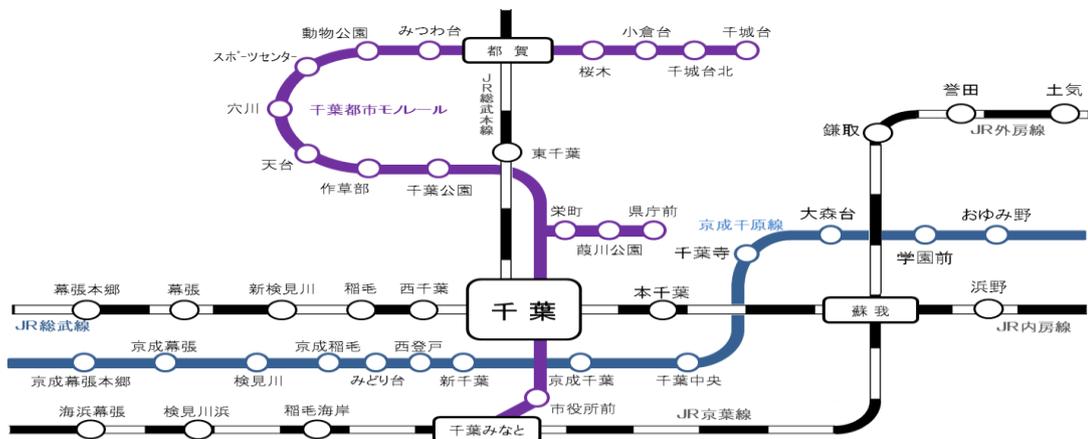


千葉市読書環境整備計画

(2) 返却ポストの設置

利用者からの要望が多い返却ポストの設置については、返却のみならず、予約資料の受け取りもできるより利便性の高いサービス拠点として、公共交通の結節点で最も乗降客数の多い、JR千葉駅周辺への設置を検討します。

なお、設置にあたっては、図書保管スペースの確保や設置場所の賃借料、物流等の経費が必要となることから、費用を最小限に抑えつつ利用者の利便性が最も高くなるよう検討を進めます。



(平成24年度)

(平成24年度)

順位	JR駅名	1日平均	順位	京成駅名	1日平均	千葉都市モノレール	1日平均(人)	年間(人)
1	千葉	104,646	1	京成千葉	25,506	18年度	44,502	16,243,408
2	海浜幕張	55,681	2	千葉中央	15,624	19年度	45,473	16,643,279
3	稲毛	49,465	3	幕張本郷	12,708	20年度	45,430	16,581,962
4	蘇我	31,298	4	京成幕張	7,802	21年度	45,570	16,633,153
5	幕張本郷	25,873	5	みどり台	6,608	22年度	45,279	16,526,885
6	西千葉	23,136	6	京成稲毛	6,214	23年度	43,224	15,820,260
7	新検見川	22,894	7	学園前	4,557	24年度	45,063	16,447,975
8	稲毛海岸	21,324	8	おゆみ野	4,320			
9	都賀	20,153	9	千葉寺	4,162			
10	鎌取	19,291	10	検見川	3,645			
11	幕張	15,797	11	大森台	2,550			
12	検見川浜	15,136	12	西登戸	2,184			
13	千葉みなと	14,956	13	新千葉	1,523			
14	土気	13,765						
15	本千葉	9,341						
16	浜野	6,840						
17	誉田	6,696						
18	東千葉	2,155						



(出典：東日本旅客鉄道株式会社、京成電鉄株式会社、千葉都市モノレール株式会社各社のホームページより引用)

(3) 他の読書施設との連携

市内には、図書館や公民館図書室以外に、読書スペースとして整備され、本の貸出・閲覧サービスを実施している読書施設があり、図書館との連携が求められています

●コミュニティセンター図書室等との連携

読書施設のある公共施設の中でも比較的規模が大きく、利用者から連携の要望のある5つのコミュニティセンター図書室及び男女共同参画センター情報資料センターとの連携を検討します。

中央コミュニティセンター（中央区）	花島コミュニティセンター（花見川区）	鎌取コミュニティセンター（緑区）	図書館併設
〃 松波分室（中央区）	穴川コミュニティセンター（稲毛区）	土気あすみが丘プラザ（緑区）	
蘇我コミュニティセンター（中央区）	長沼コミュニティセンター（稲毛区）	高洲コミュニティセンター（美浜区）	
畑コミュニティセンター（花見川区）	都賀コミュニティセンター（若葉区）	真砂コミュニティセンター（美浜区）	
幕張コミュニティセンター（花見川区）	千城台コミュニティセンター（若葉区）	※太字は、図書室あり	



●男女共同参画センター情報資料センター

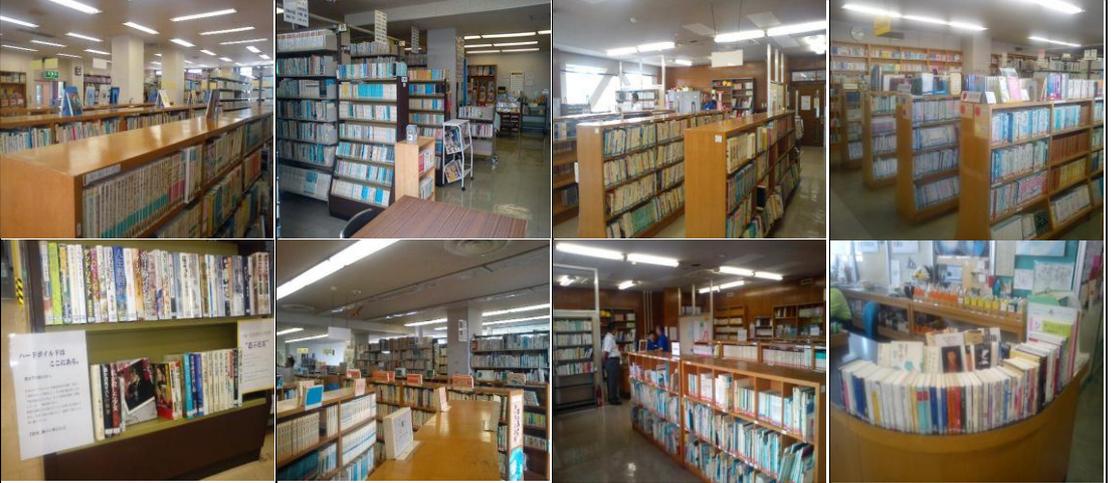
男女共同参画、福祉に関する専門資料を中心に、職場、地域、家庭など様々な場で役立つ情報を収集・提供しています。

千葉市読書環境整備計画

今後、これらの施設と連携し、図書館サービス拠点の一つとして図書の貸出や返却を可能とすることにより、利用者にとってさらに身近で便利な図書館サービスの提供が可能となります。また、各施設においては、これまで施設を利用してこなかった方が施設を訪れるきっかけとなるなど、施設の利用促進につながる事が期待できます。

さらに、各施設の図書室担当職員に対し、図書館の研修・講習会への参加機会の提供や情報交換などの面でも連携を密にし、最新の知識の習得や情報の取得を可能とすることなどにより、一層充実したサービスを利用者に提供することが可能となります。

《コミュニティセンター図書室》

施設名称	中央コミュニティセンター	蘇我コミュニティセンター	畑コミュニティセンター	幕張コミュニティセンター	真砂コミュニティセンター
住所	中央区千葉港2-1 センター6階	中央区今井1-14-35 センター2階	花見川区畑町1336-2 センター2階	花見川区幕張町3-7730-4 センター2階	美浜区真砂4-1-7 センター3階
図書室面積	66㎡	160㎡	191㎡	約180㎡	129㎡
蔵書数(開架)	4,558冊(同左)	31,819冊(同左)	40,453冊(同左)	30,000冊程度(15,000冊程度)	28,999冊(同左)
貸出冊数	9,943冊	12,815冊	12,285冊	3,549冊(9か月計)	58,730冊
利用方法	1人2冊まで、2週間貸出し	1人2冊まで、2週間貸出し	1人2冊まで、2週間貸出し	1人2冊まで、2週間貸出し	1人2冊まで、2週間貸出し
来館者数	—	11,833人	9,154人	3,336人(9か月計)	43,529人
職員数	1名	2名(受付・図書担当)	1名	1名	2名(夜間は1名)
データラベル	×なし	×なし	×なし	×なし	×なし
システム導入	×なし	×なし	×なし	×なし	×なし
バックヤード	×なし	○あり	○あり	○あり	○あり
駐車場	○あり(有料)	○あり	○あり	○あり	○あり
内観					

こうした連携を行うためには、各施設の図書室等を図書館システムに組み込みオンラインで結ぶとともに、他施設資料の搬出入に欠かせない図書の物流を整備する必要があります。

現在、男女共同参画センター情報資料センターは、蔵書や利用者情報の電子化、館内OPAC設置や貸出手続きのオンライン化が済んでいるものの、コミュニティセンター図書室は、電子化が進んでいないことから、今後、各施設の電子化の状況に応じ、徐々に連携を深めオンライン化や物流の整備を進めることとします。

《男女共同参画センター情報資料センター》



書架は、車椅子での利用を考慮し、低く間隔も広め。蔵書は女性作家のものや福祉関係が多い



館内検索機（OPAC）及びインターネット端末等が設置されている

施設名称	男女共同参画センター 情報資料センター
住所	中央区千葉寺町1208-2 ハーモニープラザ1階
図書室面積	604㎡
蔵書数(開架)	58,992冊(30,000冊程度)
貸出冊数	27,344冊
利用方法	1人10冊まで、2週間貸出し
来館者数	70,828人
データラベル	OTRCマークを使用
システム導入	○
バックヤード	○あり
駐車場	○あり
内観	
	

閉架書庫

千葉市読書環境整備計画

●その他の読書施設等との連携

市内には、小・中・特別支援・高等学校の図書館をはじめ、県立中央図書館、大学図書館、個人やNPOが運営している地域・家庭文庫などがあり、現在でも団体貸出や相互貸借など様々な連携を行っています。

こうした読書施設等についても、利便性の向上、読書機会の創出のためこれまで以上に連携を深めるとともに、館種の違う図書館を交えた情報交換や合同の研修の実施等により、さらなるサービスの向上を目指します。



千葉市図書館情報ネットワーク協議会	団体貸出利用登録団体	
図書館(室)名	団体名	文庫名
放射線医学総合研究所図書室	あすみが丘小学校子どもルーム	朝日ヶ丘自治会ひまわり文庫
神田外語大学附属図書館	穴川花園幼稚園	アリス文庫
敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	アリスの会	磯っ子文庫
淑徳大学附属図書館千葉図書館	稲丘小学校子どもルーム	NPO法人 あしたば文庫
千葉経済大学総合図書館	葛城公民館	NPO法人 こどもユニットwakaba
千葉県立中央図書館	川戸公民館	絵本の会おはなし山
千葉市議会図書室	小中台おはなし会	おはなし月ようクラブ
千葉市教育センター図書資料室	小中台小学校 図書ボランティア	おはなしの小箱
千葉市美術館美術図書室	小中台地区子どもルーム	小弓文庫
千葉大学附属図書館	幸町第3小学校子どもルーム	ガーデン文庫
千葉明德短期大学図書館	椎名子どもルーム	かいづか文庫
東京歯科大学図書館	白井小学校子どもルーム	木かげ文庫
東京情報大学情報サービスセンター図書情報部	すずらん文庫	こぐま文庫
放送大学附属図書館	蘇我子どもルーム	このゆびと～ま～れ文庫
日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館	千葉市子ども交流館	さくら文庫
植草学園大学図書館	千葉市生涯学習センター学習推進	そよかぜ文庫
千葉市生涯学習センター調査・資料室	千葉大学教育学部附属幼稚園	地域文庫こびとの部屋
千葉県立保健医療大学図書館	千葉：読書へのアニメーション勉強会	チャイルドガーデンおはなし会
増田学園図書館	都賀公民館	T・Y文庫
	土気小学校子どもルーム	Drops
	土気南子どもルーム	はなぞの文庫
	にじいろ絵本の会	ひばりが丘子ども文庫
	西の谷子どもルーム	ファミリー文庫
	平山小学校子どもルーム	文庫 ふたばっこ
	院内小読み聞かせボランティア「ぶっくる」	ペリカン文庫
	誉田小学校子どもルーム	道草文庫ゆに
	誉田東小学校子どもルーム	みどり文庫
	幕張西小学校子どもルーム	レインボー文庫
	みどり読書会	ろうそくの会
	緑町小学校 読書ボランティア	
	宮崎子どもルーム	
	わかしお子供ルーム	
	若松小学校子どもルーム	



2 ICTの利活用

(1) ICTの進展と今後の活用

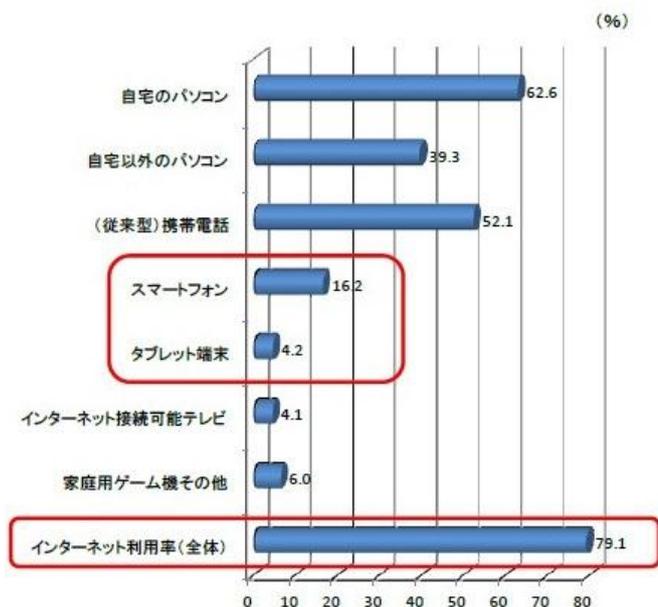
図書館では、昭和63年にはじめてコンピュータを一部の図書館に導入し、その後徐々に全館をオンラインで結び、事務処理の効率化や貸出しの迅速化を図ってきました。

現在では、蔵書検索や予約サービスなどを提供し、多くの方に利用されています。

一方、国の調査では、平成23年度末のインターネットの普及率は、8割に達しており、また、スマートフォンやタブレットの出現により、“誰もが” “いつでも” “どこでも” 電子化された情報を利用できる社会が到来しています。

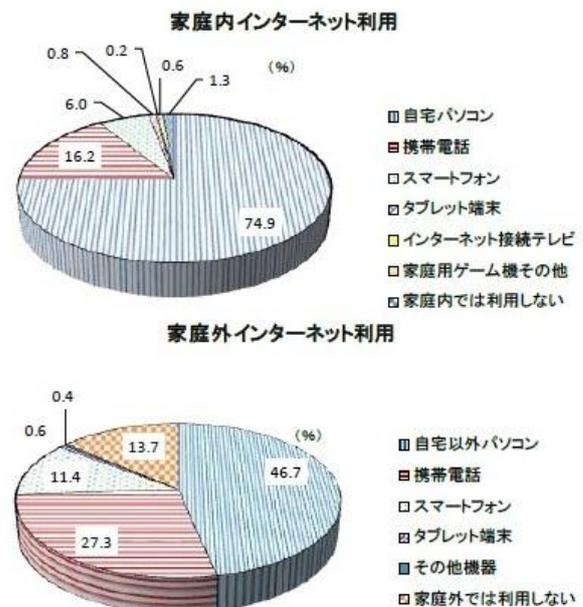
また、少子超高齢化の進展や障害者サービスの拡充のため、タブレット等の機器が基本的に備えている、文字の拡大や音声読み上げなどの機能を活用した、図書館サービスの提供を検討します。

端末別インターネット利用(人口普及率)



※当該端末を用いて平成23年の1年間にインターネットを利用したことがある人の比率を示す(無回答を除く)。

家庭内外で主としてインターネット接続に使う端末(インターネット利用者に占める比率)



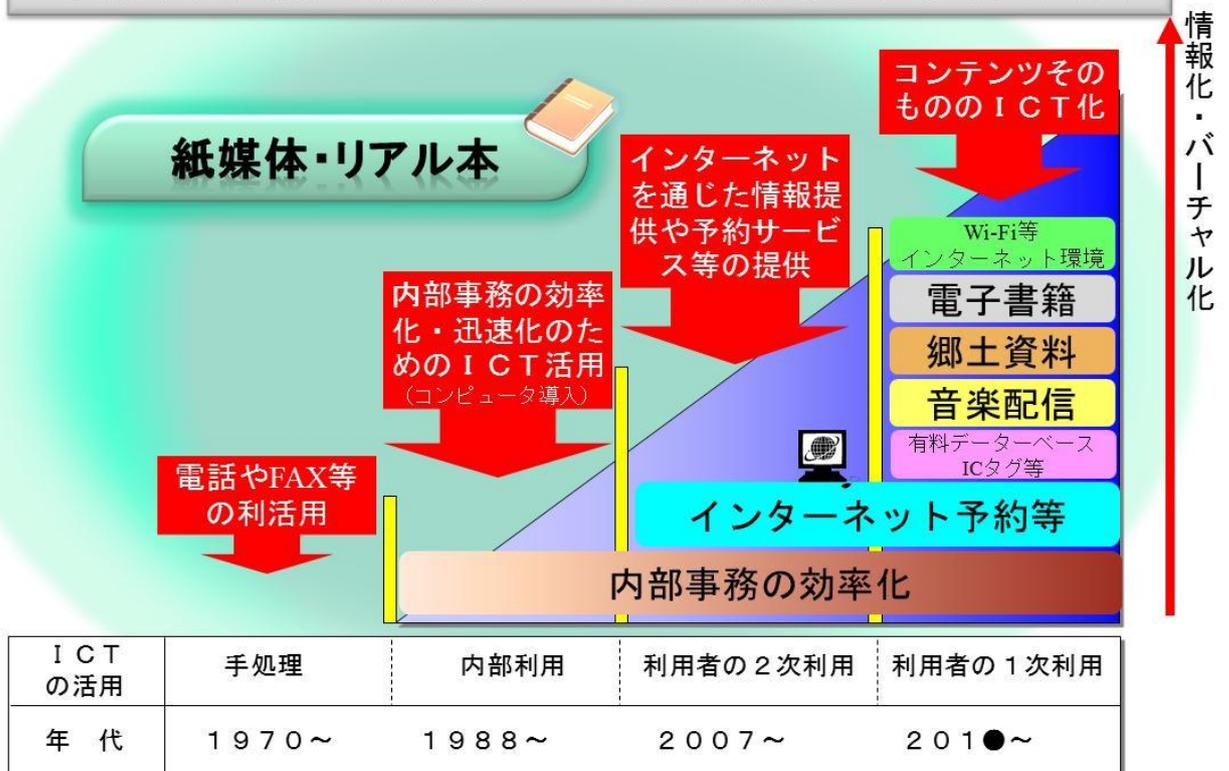
※平成23年の1年間にインターネットを利用したことがある人に占める当該端末を主として利用する人の比率を示す(無回答を除く)。

(出典) 総務省「平成23年通信利用動向調査の結果」

今後は、こうしたICT進展のメリットを利用者が直接享受できるよう、図書館においてもより一層ICTの進展への対応を加速し、時代のニーズに即した図書館づくりを進めます。

そのためには、まず、インフラとなるインターネット利用環境の整備を進め、その後、電子書籍や有料データベース等のコンテンツの提供を行うなど様々な情報やサービスが受けられるよう、図書館の電子化を進めます。

千葉市図書館におけるICTの導入・活用と今後の方向性



(2) ICT利活用の具体的取り組み

ア インターネット利用環境の整備

電子化された情報を利用者に提供するための、インフラの整備を行います。

○無線LANサービスの提供

図書館内に無料の無線LAN (Wi-Fi) アクセスポイントを設置し、いつでもインターネットに接続できる環境を整備します。

○館内端末の整備

インターネットや有料データベース、国立国会図書館が公共図書館向けに配信する資料等を閲覧するための館内端末を整備します。

整備にあたっては、現行の館内OPACの機能拡張やプリンタ等の外部機器を接続した専用の据置型端末、タブレット端末の導入を検討します。

イ 電子書籍の提供

自宅に居ながら書籍の購入ができ、軽量で一度に千冊もの本を持ち歩くことができる電子書籍専用端末については、多くのメーカーが専用端末を発売して話題となっているものの、タイトル不足等の理由から、あまり普及が進んでいません。

一方、汎用的な携帯端末であるスマートフォンやタブレット向けにも、電子書籍の供給が開始されており、徐々に浸透しつつあります。

図書館関連では、国立国会図書館による絶版本など貴重資料の配信が平成26年1月から始まり、また、民間の出版社による図書館向け電子書籍の供給が見込まれるなど、図書館を取り巻く環境が急速に変化しており、早急に電子書籍への対応を図る必要があります

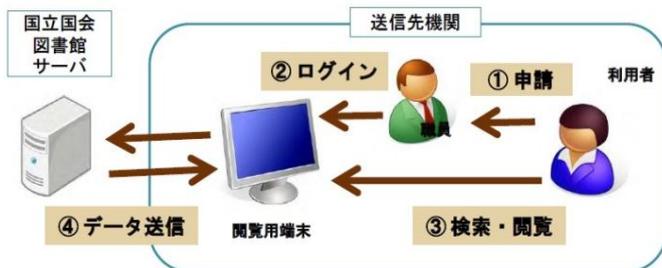
これらのことから、電子書籍については、まず、図書館向けに提供されるサービスやインターネット上で無償提供されているものを皮切りに順次導入を進め、利用者に提供します。

<国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料利用方法>

利用方法

● 閲覧

- 利用者の申請を受けて図書館職員がログイン
- 利用者が端末でデジタル化資料を閲覧
- 図書館施設内での利用に限定



デジタル化資料提供状況

平成25年8月末時点（概数）

提供種別	インターネット公開	館内限定提供	合計
図 書	34万点	56万点	90万点
古 典 籍	7万点	2万点	9万点
雑 誌	0.5万点	104.5万点	105万点
博士論文	1.5万点	12.5万点	14万点
(その他)	4万点	4万点	8万点
合 計	47万点	179万点	226万点

送信対象資料

図書(戦前)	218,331点
図書(戦後)	296,765点
古 典 籍	19,257点
雑 誌	669,341点 (9,458タイトル)
博士論文	117,210点

(出典) 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービスについて～サービスの概要～」

千葉市読書環境整備計画

ウ その他の取り組み

郷土資料のデジタル化と提供	郷土の歴史的資料として貴重な冊子や写真などをデジタル化し、キーワードや地図・年表等により検索できるようにするとともに、図書館が所蔵する関連資料の案内や予約もできるトータル的なコンテンツの提供を検討します。	 (昭和33年)旧市役所庁舎
ホームページサービスの機能拡張	ホームページに電子書籍やデジタル化した郷土資料へのリンクを設置するとともに、ホームページでパスワード再発行の手続きを行えるようにするなど、利便性のさらなる向上に向けた機能強化を検討します。	
有料データベースの提供	新聞や雑誌の記事をキーワードで容易に検索できる逐次刊行物のデータベースや、GIS ^{※6} を使ったマーケティングツールの館内端末での利用を検討します。	
タブレットの活用 	タブレットの導入により、文字の拡大や音声読み上げ機能を使った大活字本に代わる障害者サービスの拡充や、電子図鑑等の動画や音声とリンクした電子書籍ならではのコンテンツ提供等を検討します。	
音楽配信	クラシック等の歴史的音源を中心に、利用者がインターネットを通じて自宅のパソコン等で音楽を視聴することができるサービスの提供を検討します。	
図書館アプリの提供	スマートフォンやタブレットのユーザに向けて図書館専用のアプリケーションを作成し、館内の案内や蔵書の検索・予約などのサービスの導入を検討します。	
館内の電子化による利便性の向上	中央図書館は、広く蔵書も多いことから、現在の館内OPACに加え、タブレット型の端末を書架等に設置し、より本を探しやすくするほか、デジタルサイネージを活用した案内を設置し、自動出納書庫の出庫状況や研究個室・自習室の混雑状況等の情報を分かり易く提供することを検討するとともに、管理の自動化・省力化についても検討します。	
Web レファレンスサービス	司書が配置されていない公民館図書室等でも、司書と対面したレファレンスサービスが受けられるよう、Webカメラ等を利用し映像を用いた遠隔レファレンスサービスの提供について調査・研究を行います。	
マイナンバーカードとの機能統合	マイナンバーカード ^{※7} を使って図書館サービスを利用できる仕組みを導入する等、マイナンバーカードへの機能集約を希望する利用者の利便性向上について調査・研究を行います。	
ICタグの導入 	ICタグ(RFID ^{※8})の導入により、職員と対面することなく資料を借りることができるようになり、また、蔵書点検等の作業の簡素化や期間の短縮も期待できますが、導入にあたり莫大なコストの発生が見込まれることから、当面の間は調査・研究を行います。	
オープンデータの活用	図書館におけるオープンデータの活用について、個人情報に配慮したデータの作成方法や活用方針について調査・研究を行います。	

※6 Geographic Information System の略、地理情報システム

※7 国民一人一人に番号を割り振り所得や納税実績、社会保障に関する個人情報を1つの番号で管理する共通番号「マイナンバー」制度に基づくICチップ入りの「個人番号カード」

※8 Radio Frequency Identification の略、電波による個体識別

3 既存施設の機能更新等

(1) 既存施設の機能更新

● 現有建築物等（全館）

第4章2(1)で述べたとおり、本計画では、ICTの進展に対応するため図書館の電子化に取り組むものとしていますが、やはり、紙でできた本を収集し提供することは、これからも図書館サービスの中心であり、根幹を成すサービスとして提供し続ける必要があります。

そのため、現在の図書館をサービス拠点として引き続き活用することとし、市有施設中長期保全計画に基づき適切な修繕等を行うことで、施設の長寿命化を図ります。

また、バリアフリー化やICTの進展に対応するためのインフラ整備などについても、併せて検討を進めることとします。

しかし、供用開始から40年余りが経過し、老朽化の進展が著しく、大規模改修や建替えが必要となり、多くの経費や時間を要するケースも想定されます。こうした施設については、「資産経営基本方針」の基本的な考え方を踏まえ、他の公共施設との複合化を検討するとともに、地域経済の活性化も視野に、図書館の集客力を生かした民間集客施設との複合化についても検討することとします。

●自動出納書庫（中央図書館）

中央図書館に設置されている自動出納書庫は、平成13年の開館に合わせて整備したもので、平成18年度に1基増設し、現在は約53万冊の容量となっています。

しかし、現在のペースで格納すると、第2章の図「自動出納書庫の容量と格納状況」のとおり、平成30年中には不足することが見込まれることから、今後、さらなる効率的な運用を進めるとともに、物理的な格納場所を必要としない電子書籍の導入についても検討します。

ただし、一旦容量不足が発生すると、格納できない資料の保管場所の確保やコンピュータシステムの改修など余分な経費が発生することから、増設の必要な時期を見極め、市の実施計画に位置付け着実に実施します。

《自動出納書庫》

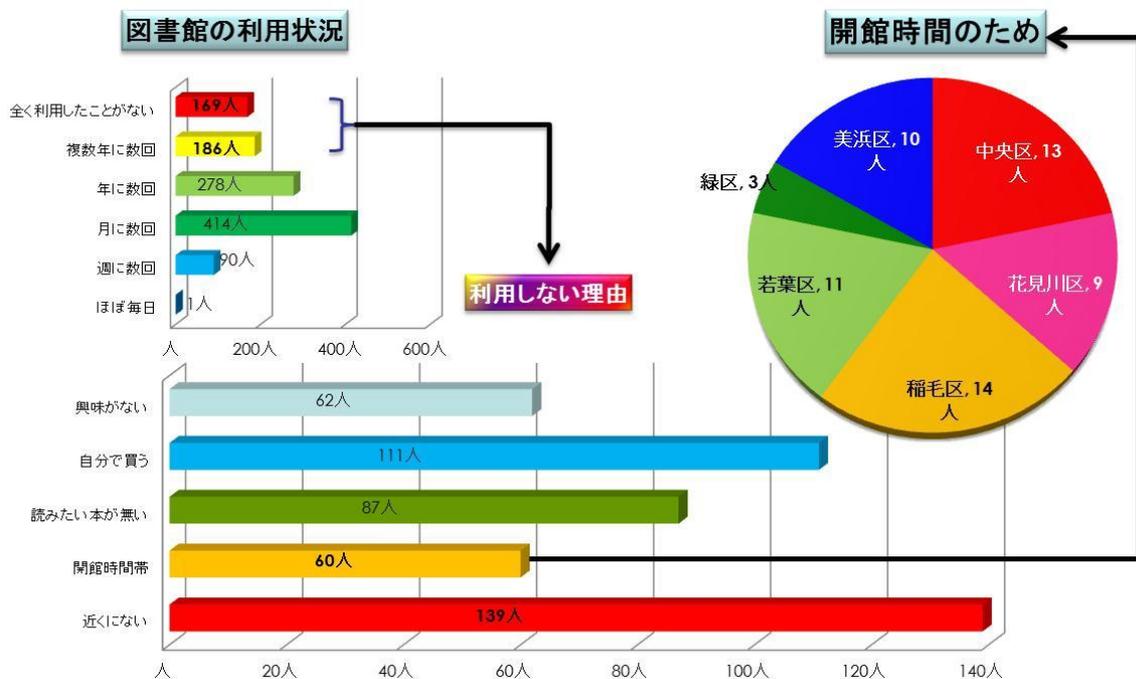


(2) 開館日及び開館時間の拡大

中央図書館は、土日祝日を除き、午前9時30分から午後9時まで開館しており、政令指定都市の公共図書館の中でも長い開館時間となっています。

しかし、地区図書館及び分館では午前9時開館と中央図書館より早いものの、閉館が午後5時15分であり、また、祝日も休館となっていることから、開館日及び開館時間の拡大が求められています。

《H24.8 インターネットモニターアンケート結果》



開館日及び開館時間の拡大に向けた検討は、これまでも行ってきましたが、新たに発生する経費や職員の確保が困難なことから、先送りとしてきました。

こうした中、平成25年度から、開館日及び開館時間拡大の取り組みとして、職員は勤務しており、新たな経費が発生しない1月4日の午後開館や蔵書点検期間の2日短縮及び隔年実施により、開館日及び開館時間を増やしました。

今後の取り組みとしては、まず地区図書館の祝日開館を試行的に実施し、来館者数や貸出冊数などの利用状況等を検証した上で、本格実施について検討します。

分館の祝日開館については、地区図書館の試行実施を通じて得られた結果を踏まえ、さらに分館の利用状況や地域性等を見極めて実施に向けた検討を行います。また、全図書館の月曜休館のあり方や地区図書館及び分館の開館時間の延長など他の取り組みについても、実施の方向性や方法などについて検討を行います。

(3) 千葉県図書館サービスプラン2010との関連施策・事業

「千葉県図書館サービスプラン2010」で掲げた施策・事業項目のうち、インフラ等のハード的整備を伴う施策・事業について、本計画の中で、それぞれ整備の方向性を明らかにしました。

その方向性に基づき読書環境の整備を進めることにより実施可能となった「千葉県図書館サービスプラン2010」の施策・事業については、順次、その具体的なサービス内容や提供方法について改めて検討し、速やかに実施することとします。

本計画に基づき、サービス拠点の整備、ICTの利活用、既存図書館の機能更新等の取り組みを進めることで、時代の変化に呼応し、環境の整った施設として、図書館の新たな価値や魅力を創出し、市民の皆様によろこばれ、頼られる読書環境を整備します。

これにより、社会教育及び生涯学習の推進を図り、千葉市新基本計画で掲げる実現すべきまちの個性の一つである「未来を創る人材が育つまち」の実現を目指します。

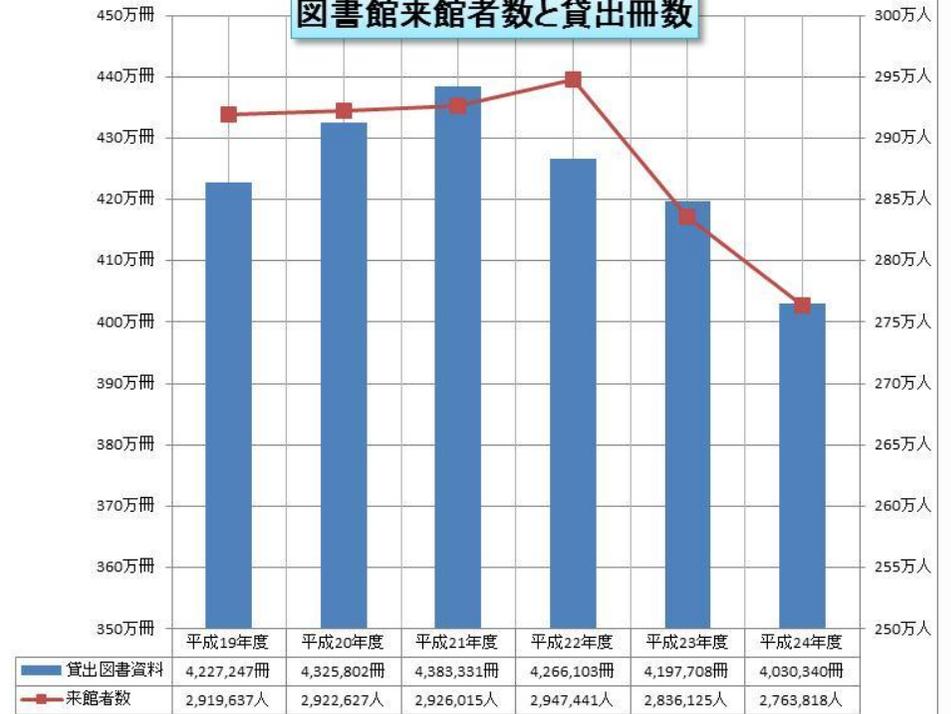
— 卷末資料 —

図書館利用状況

人口と利用者(市民)数の推移

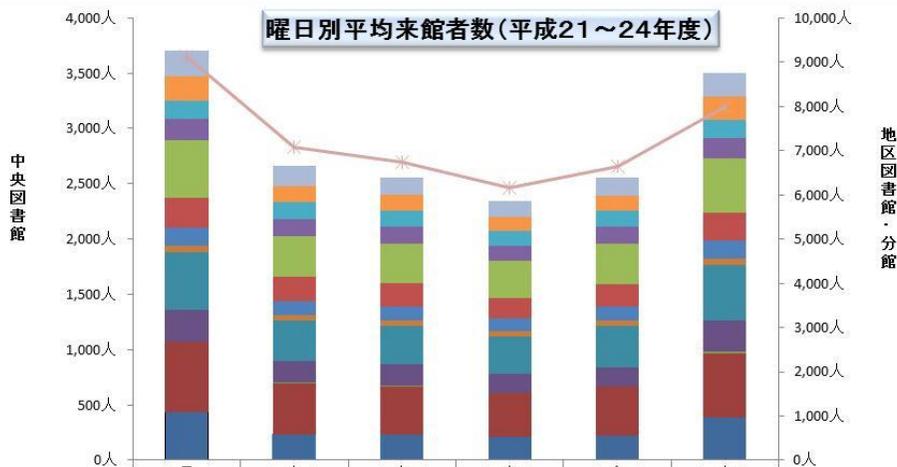


図書館来館者数と貸出冊数



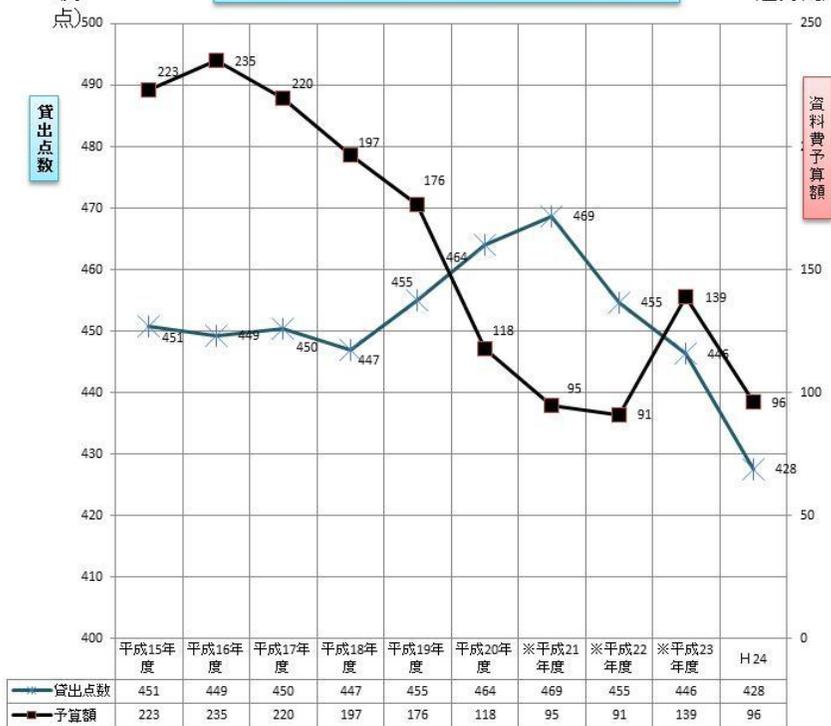
図書館利用状況

曜日別平均来館者数(平成21~24年度)



	日	火	水	木	金	土
みやこ図書館	569人	450人	398人	378人	404人	532人
白旗分館	555人	370人	369人	306人	349人	524人
花見川図書館	415人	367人	349人	328人	360人	414人
花見川団地分館	495人	406人	391人	359人	375人	459人
稲毛図書館	1,307人	918人	904人	822人	932人	1,230人
若葉図書館	658人	537人	516人	468人	506人	632人
西都賀分館	420人	328人	329人	285人	312人	394人
泉分館	135人	123人	118人	124人	123人	141人
緑図書館	1,312人	895人	863人	836人	926人	1,270人
あすみが丘分館	724人	486人	478人	439人	450人	703人
土気図書室		30人	31人			43人
美浜図書館	1,581人	1,152人	1,088人	1,000人	1,109人	1,440人
打瀬分館	1,092人	587人	570人	525人	545人	967人
中央図書館	3,648人	2,835人	2,700人	2,464人	2,653人	3,198人

千葉市図書館の貸出点数と資料費予算額の推移 (百万円)



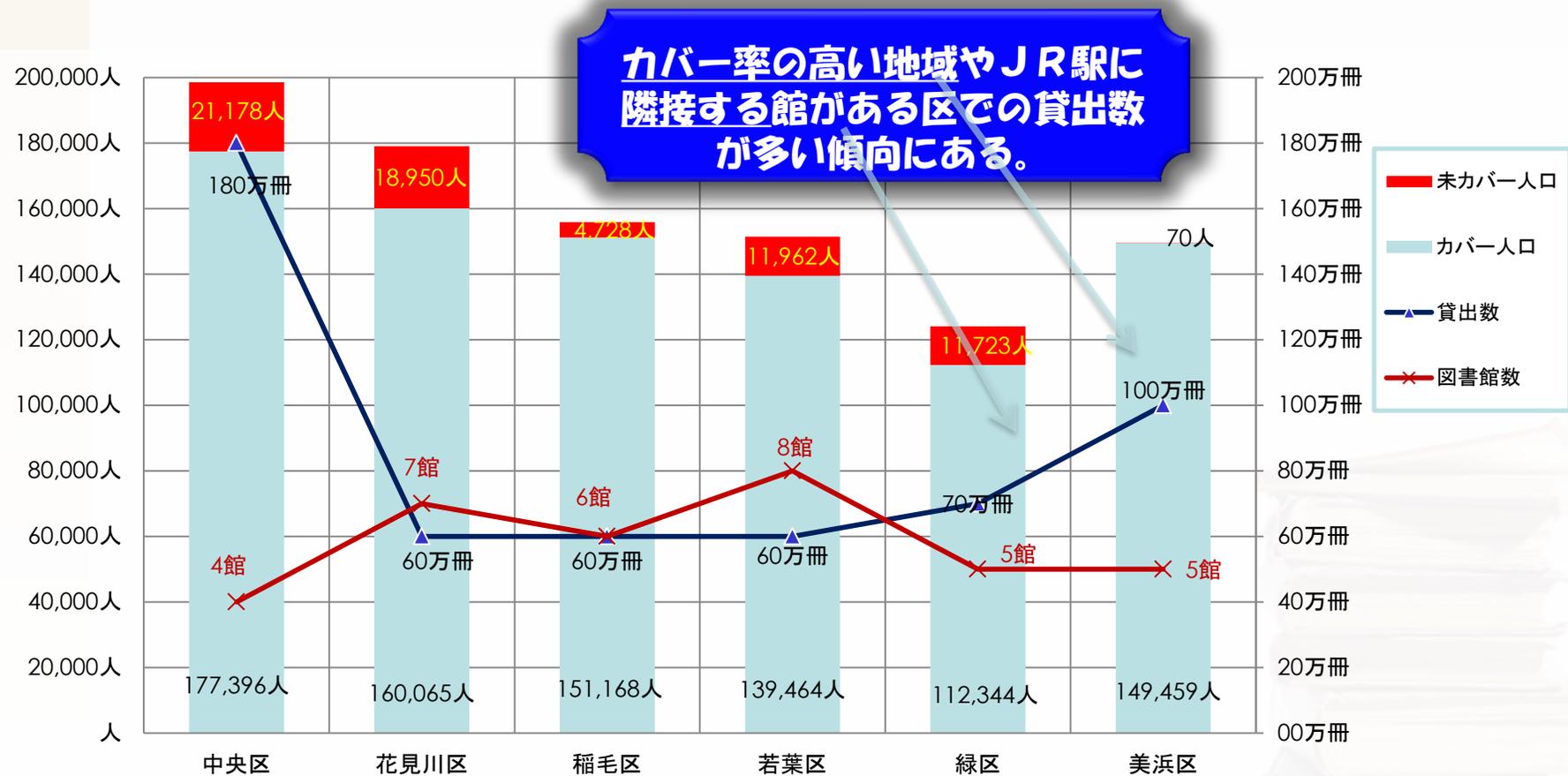
※21年度予算については、地域活性化交付金額4,050千円を含む。
 22年度貸出数については、東日本大震災及び着付画停電対応のため貸出の制限等を行った影響により、大幅減となっている。
 23年度予算については、22年度からの明許繰越50,500千円を含む。
 23年度貸出数については、12月末までの実績値から1年間を推計した貸出数(震災による影響は、考慮してない)。

各図書館の設置年と利用状況

(平成25年3月31日現在)

館名	設置年 (改築年)	面積 閲覧席	図書館資料 紙芝居 視聴覚資料	新聞 雑誌	来館者数	館名	設置年 (改築年)	面積 閲覧席	図書館資料 紙芝居 視聴覚資料	新聞 雑誌	来館者数
中央図書館 	平成13年	10,275.19㎡ 547席	948,755冊 1,044点 16,095点	119紙 773誌	817,490人	西都賀分館 	昭和55年	762.04㎡ 43席	71,314冊 175点 1点	6紙 55誌	92,615人
みやこ図書館 	平成元年	1,753.68㎡ 86席	141,374冊 810点 2,830点	10紙 112誌	123,499人	泉分館 	平成18年	499.86㎡ 54席	38,698冊 379点 5点	5紙 45誌	34,398人
白旗分館 	昭和48年	548.21㎡ 48席	72,969冊 518点 1点	6紙 58誌	107,988人	緑図書館 	平成12年	1,940.00㎡ 125席	153,545冊 542点 3,217点	12紙 188誌	275,605人
花見川図書館 	昭和53年	1,200.05㎡ 76席	139,241冊 631点 2,252点	9紙 139誌	97,916人	あすみが丘分館 	平成5年	511.92㎡ 45席	70,159冊 586点 5点	9紙 66誌	148,288人
花見川団地分館 	昭和54年 (平成17年)	801.75㎡ 66席	61,161冊 153点 1点	5紙 62誌	111,976人	土気図書室 	昭和49年	196.00㎡ 6席	28,344冊 231点 -	- 14誌	4,989人
稲毛図書館 	昭和47年 (平成9年)	2,799.86㎡ 113席	170,383冊 315点 3,185点	9紙 138誌	271,036人	美浜図書館 	昭和55年	878.91㎡ 36席	112,013冊 694点 3,804点	10紙 87誌	330,202人
若葉図書館 	昭和49年	1,146.91㎡ 107席	123,066冊 386点 2,456点	11紙 117誌	152,701人	打瀬分館 	平成14年	717.70㎡ 61席	72,367冊 470点 1点	10紙 91誌	195,115人

区別図書館カバーサービス拠点人口

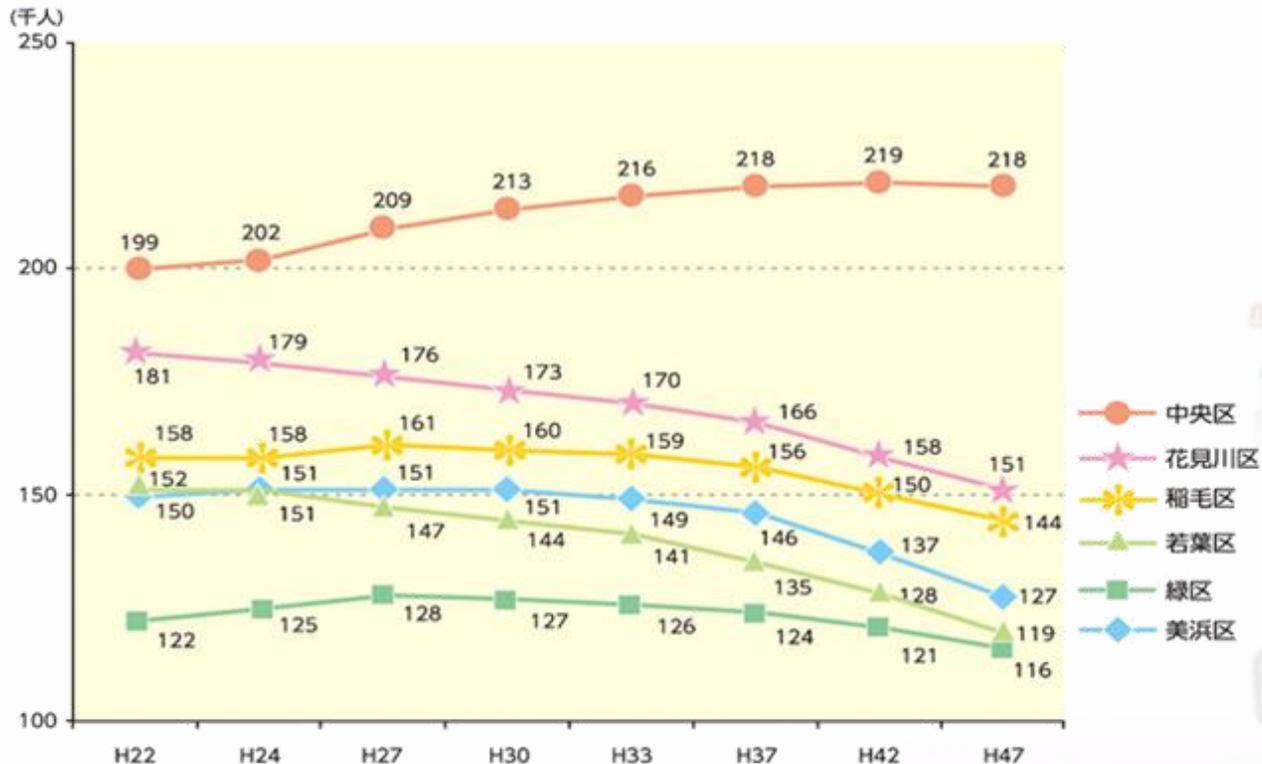


カバー人口	177,956人	142,135人	150,753人	139,152人	113,411人	148,988人
未カバー人口	21,617人	25,921人	4,643人	14,240人	15,131人	60人
カバー率	89.17%	84.58%	97.01%	90.72%	88.23%	99.96%

区別人口の将来見通しについて

・中央区は、総人口が減少に転じる平成27年(2015年)以降も増加を続けますが、その他の区は、平成27年(2015年)にはピークを迎え、その後減少に転じる見通しです。

■区別人口の見通し



(資料：千葉市新基本計画)



政令指定都市図書館 開館時間・休館日について

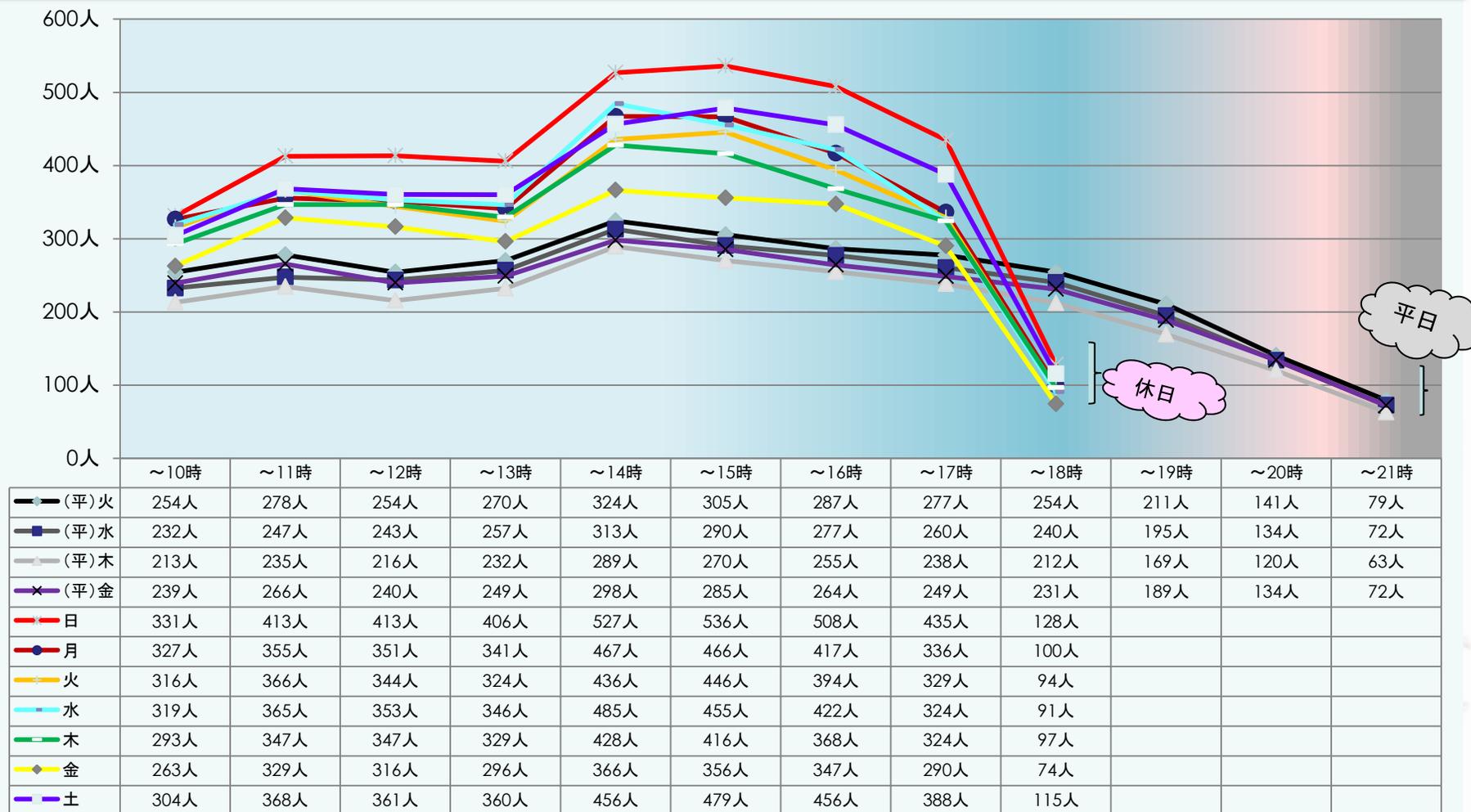
○:全館実施 △:一部実施 ×:全館未実施

	開館時間		休館日														夜間開館 (18:00以降)	祝日 開館												
	平日(休館日を除く)							休日(土・日・祝日等)							休館日															
	上段:中央館 下段:地区館							上段:中央館 下段:地区館							上段:中央館 下段:地区館															
	9:00	10:00	11:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	9:00	10:00	11:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	日	月	火	水	木	金	祝日	その他	年未年始	平日	中央館 地区館	土日祝		
札幌																				第2 第4						A	○	2000 1900	×	○
仙台																	○				第4			祝の 翌日		C	○	2000 1900	×	○
さいたま (統一されていない)																	第1・3									B	○	2100 1900	×	○
千葉																	○				第3			○		B	△	21:00 17:15	×	△
川崎																	第3									B	△	19:00 19:00 18:00	×	○
横浜																										A 1/4 午前休	○	20:30 19:00	×	○
相模原																	○				第2 1・4月除く					B	○	2000 20:00	×	○
新潟 (統一されていない)																	○				第1 (第1)	第2 (一部)		祝の 翌日		A	○	2000 1900	×	△
静岡 (統一されていない)																	第2				第4			祝の 翌日		D	△	19:00 19:00 17:00	×	△
浜松 (統一されていない)																	○				第4			(一部)		A	△	19:00 17:30	×	△
名古屋																	○					第3				B	○	20:00 19:00	×	○
京都 (統一されていない)																	○				第2・4					A	○	20:30 19:00	×	○
大阪																	○				第1・3 第3					B	○	20:30 19:00	×	○
堺 (統一されていない)																	○	第1 6・9・12月						3月 末日		A	△	20:00 20:00 17:00	×	○
神戸																	○									A	○	20:00 20:00	×	○
岡山 (統一されていない)																	第2	○			(一部)			○		C	△	18:00 18:00 19:00	×	×
広島																	○							祝の 翌日	奇数月 末日	B	○	19:00 19:00 19:00	×	○
北九州																	○									A	○	19:00 19:00	×	○
福岡																	○								月末	C	△	19:00 18:00	×	○
熊本																	○									B	△	19:00 18:00 19:00	×	○

○:全館実施 △:一部実施 ×:全館未実施

政令指定都市図書館 開館時間・休館日について

中央図書館 曜日別・時間帯別来館者数



平成21年4月1日～平成24年3月31日の平均

インターネットモニターアンケートー調査票ー

アンケート調査名 図書館サービスの充実や利便性の向上について

概要 図書館サービスの充実や利便性の向上についての計画作成するにあたって、検討資料として活用させていただきます。

Q1: 設問	図書館サービスの充実や利便性の向上について伺います。 千葉市の図書館をどれくらい利用したことがありますか。	
回答条件	(1つだけ)	(入力必須)
選択肢	ほぼ毎日→Q3へ 週に数回→Q3へ 月に数回→Q3へ 年に数回→Q3へ 複数年に数回 全く利用したことがない	
設問意図	回答者の利用頻度から回答傾向を分析するため、アンケートの冒頭で利用頻度ごとの分類を行います。	

Q2: 設問	Q1で「複数年に数回」または「全く利用したことがない」とお答えした方に伺います。 利用しない理由は何ですか。	
回答条件	(いくつでも)	
選択肢	近くにない 利用できる時間帯に開館していない 利用したい本や資料がない 本や資料は自分で買って読みたい 図書館に興味がない	
設問意図	図書館を利用しない理由を伺い、来館者を増やす対策を検討します。	

Q3: 設問	千葉市の図書館の開館時間及び開館日の拡大について、望むものはどれですか。 ※現在の開館時間等 中央図書館・開館時間 平日9:30～21:00、土日祝9:30～17:30、休館日 月曜日 地区図書館・分館・開館時間 :9:00～17:15、 休館日 月曜日、祝日	
回答条件	(2つまで)	
選択肢	地区図書館・分館の祝日開館 地区図書館・分館の月曜日開館 地区図書館・分館の開館時間の延長 中央図書館の月曜日開館 中央図書館の土・日曜日・祝日の開館時間の延長 現在のままでよい わからない	
設問意図	開館時間、開館日に関する市民のニーズを調査します	

Q4: 設問	図書館に導入してほしいと思うサービスを以下のうちから2つ選んでください。 ※WEB図書館サービス：パソコン等を使ってインターネット上の仮想図書館にアクセスすることで、来館せずに自宅から電子書籍の貸出を受けることができます。	
回答条件	(2つまで)	
選択肢	図書館以外で読書のできる施設と連携(コミュニティセンター等での資料受取や返却等) 図書返却ポストの設置(商業施設や区役所など) WEB図書館サービス(※) 音楽配信サービス 電子書籍専用端末(キンドル、コボ、リーダー等)の館内利用 自動貸出機の設置(図書館職員と対面することなく、図書を借りられます) 無線LANアクセスポイントの設置 商用データベースの提供(新聞・雑誌の記事検索等)	
設問意図	その他のサービスについて市民のニーズを調査します	

Q5: 設問	図書館サービスの充実や利便性の向上について、自由な意見をお聞かせ下さい。 (Q4以外に導入してほしいサービスや、最優先で取り組んでほしいもの等)	
回答条件	(自由記述)	
選択肢		
設問意図		

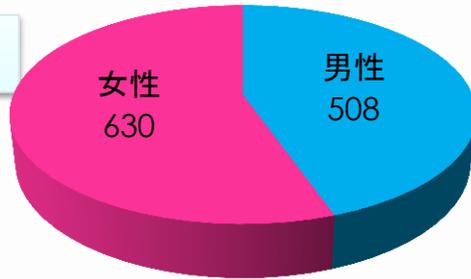


インターネットモニターアンケート結果

回答者について

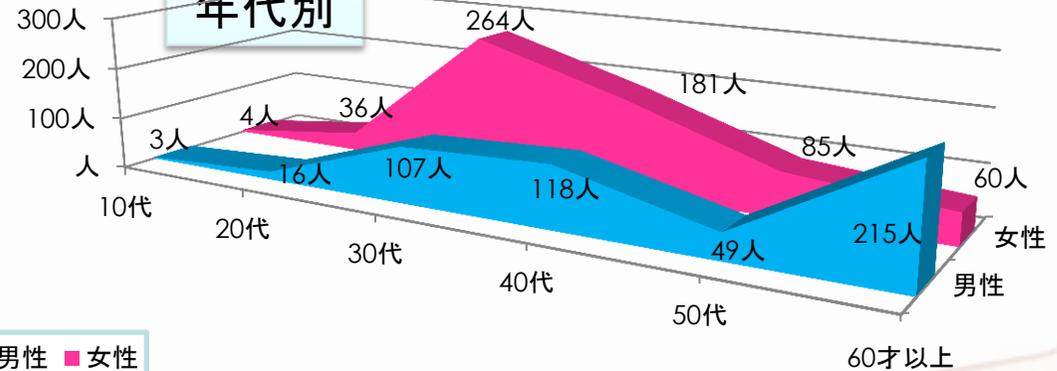
実施期間: 平成24年8月1日~8月7日

性別

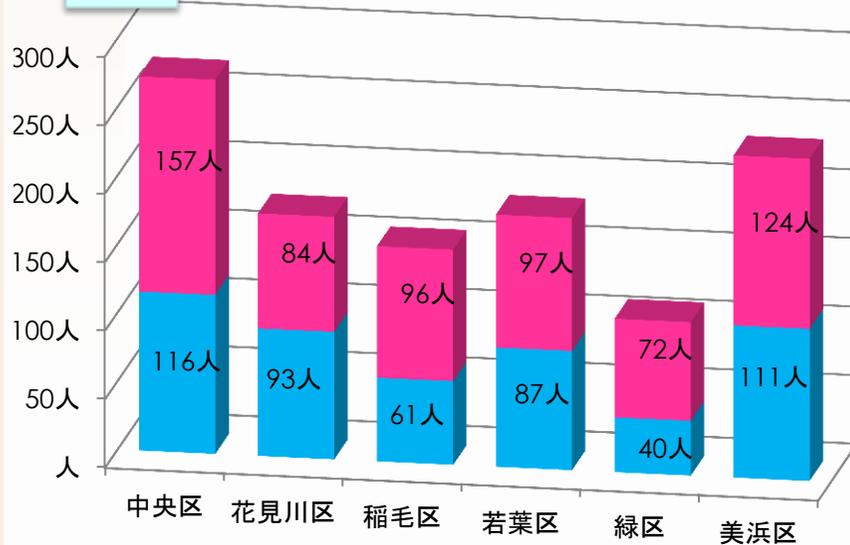


男性	508人
女性	630人
総計	1,138人

年代別



区別

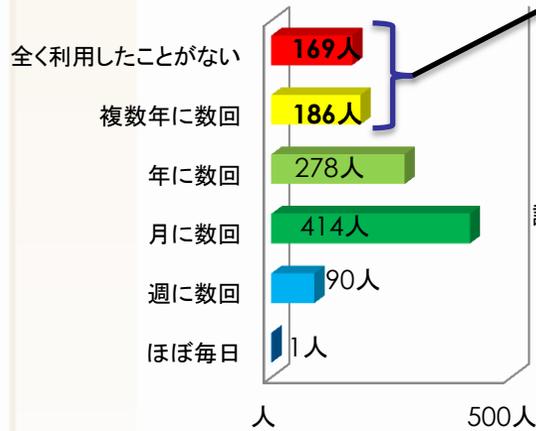


職業別

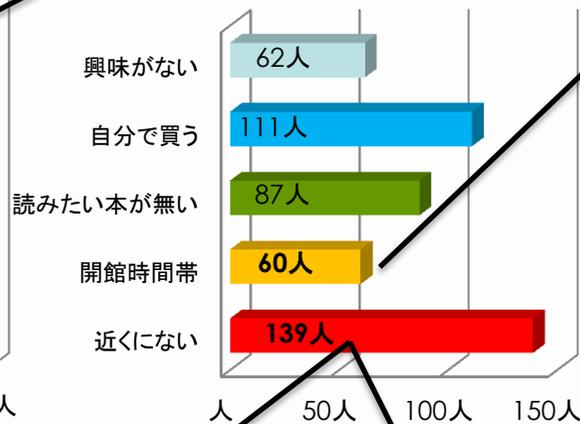


インターネットモニターアンケート結果

図書館の利用状況



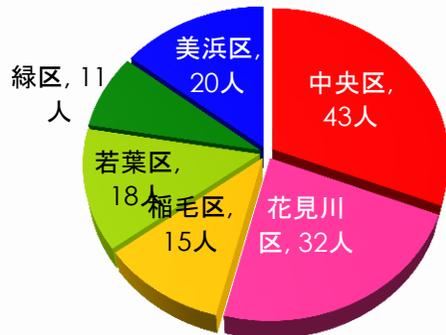
利用しない理由



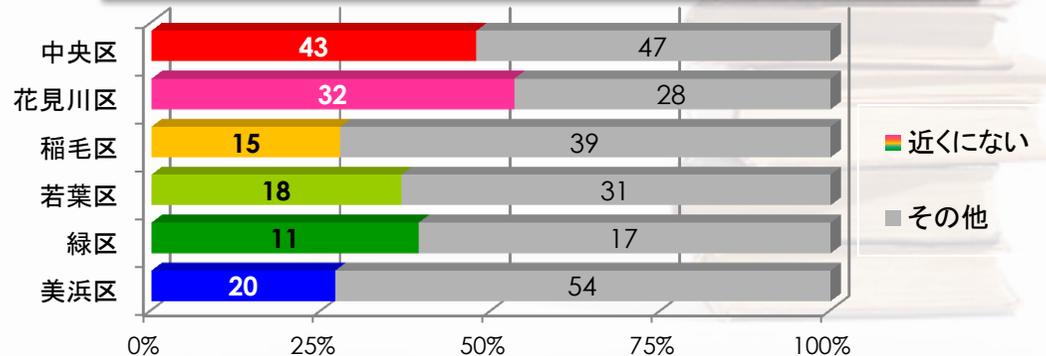
開館時間のため



近くにないと回答区別人数

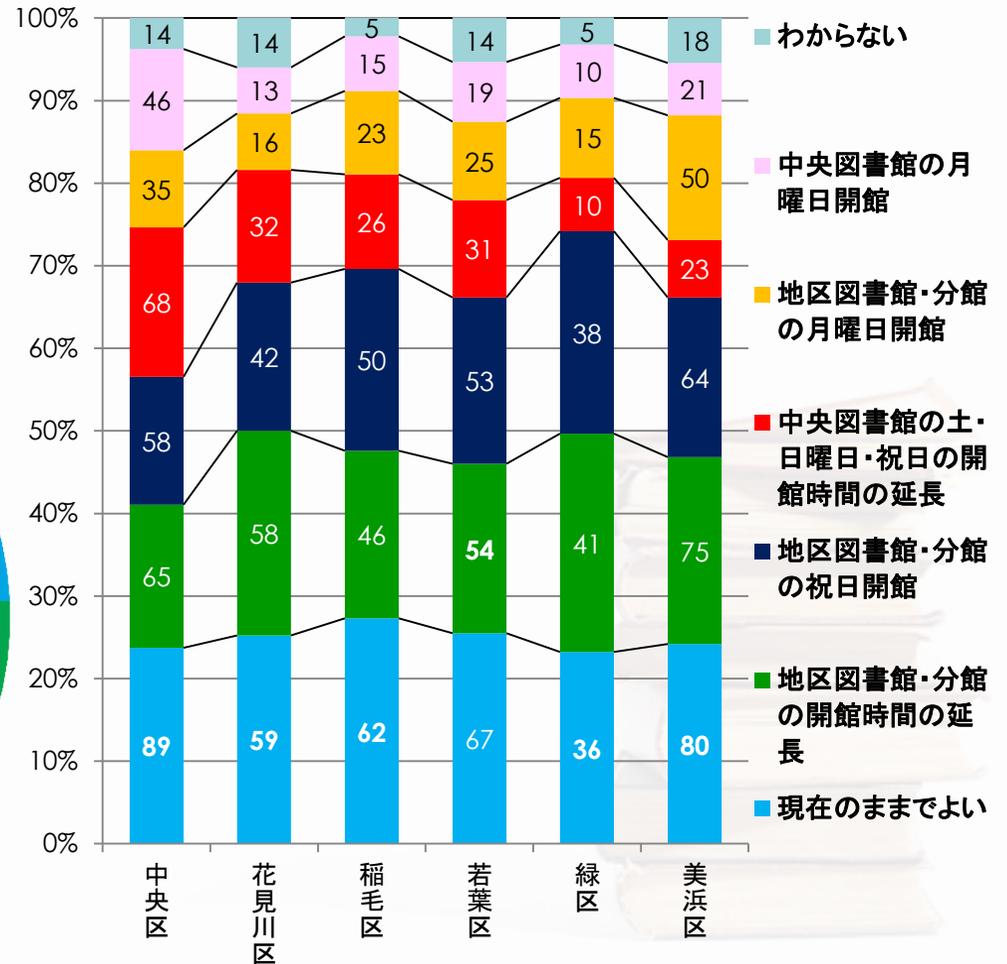
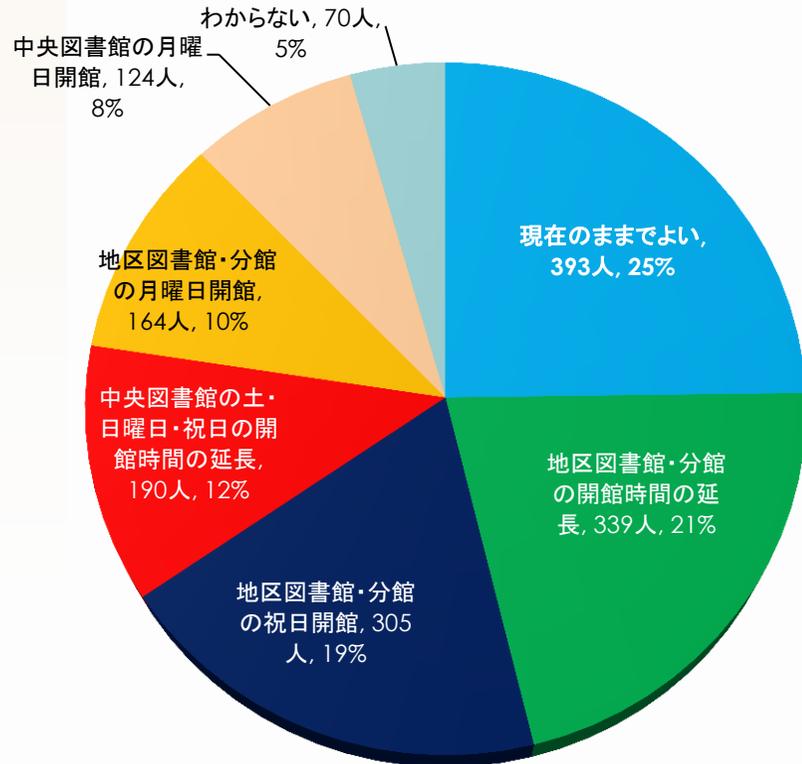


利用しない回答者のうち近くにないと回答した人の割合



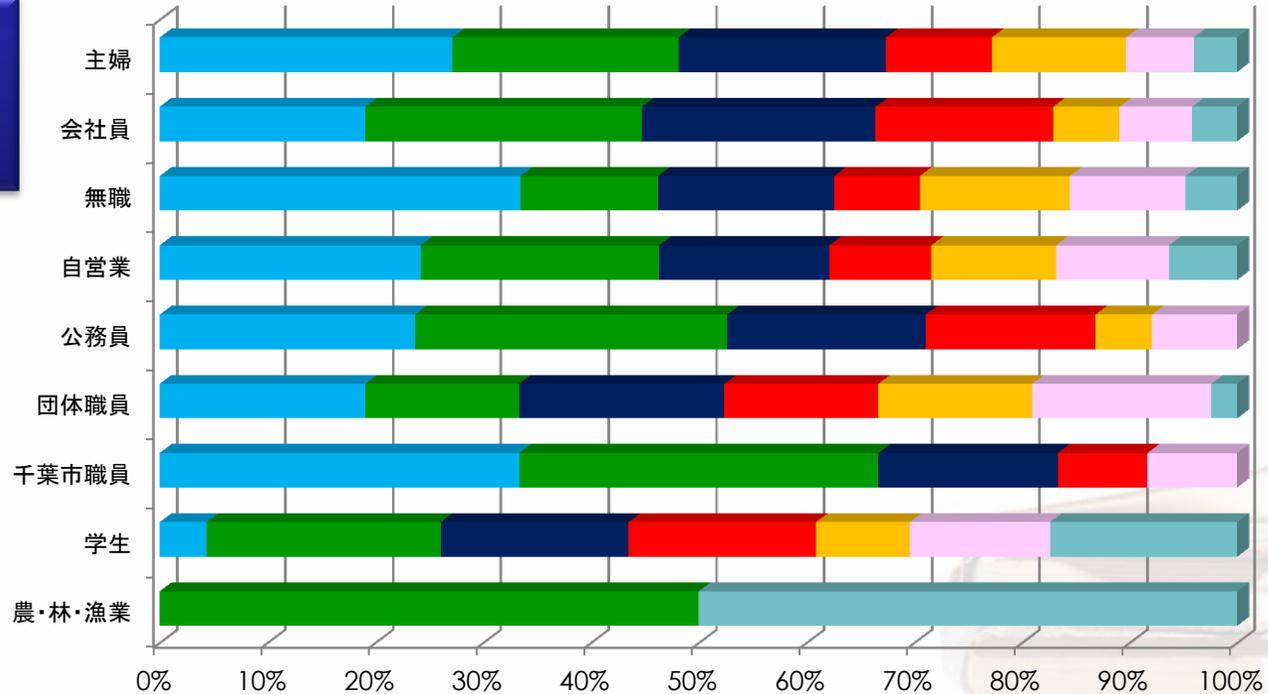
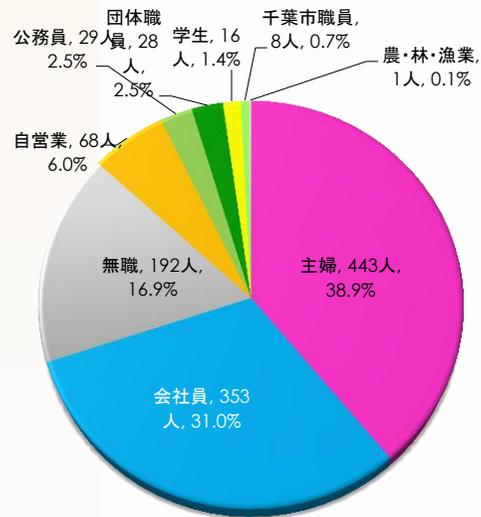
インターネットモニターアンケート結果

図書館の開館時間及び開館日の拡大について ～区別～



インターネットモニターアンケート結果

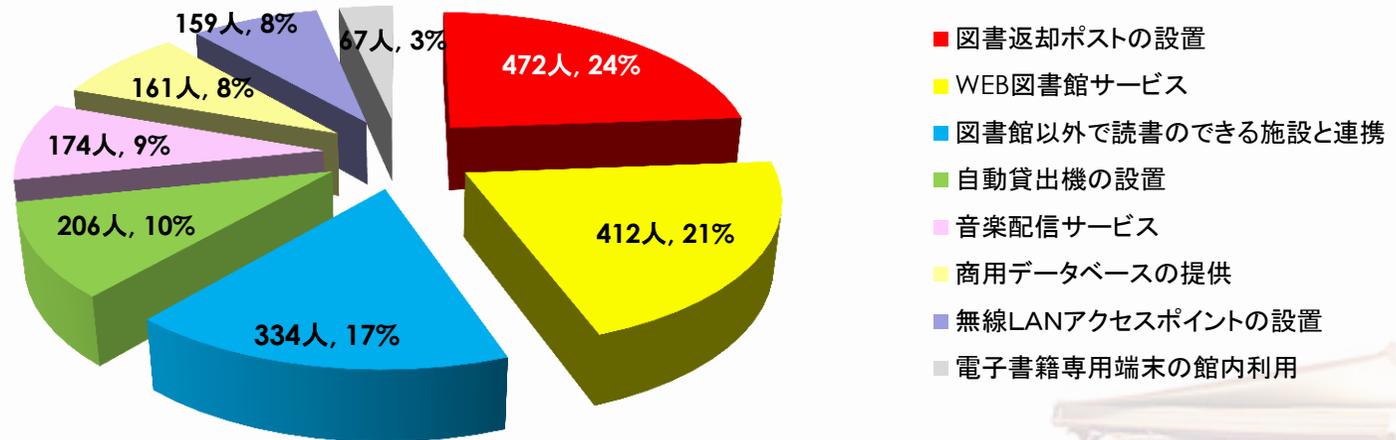
図書館の開館時間及び開館日の拡大について ～職業別～



	農・林・漁業	学生	千葉市職員	団体職員	公務員	自営業	無職	会社員	主婦
■現在のままでよい		1人	4人	8人	9人	23人	84人	96人	168人
■地区図書館・分館の開館時間の延長	1人	5人	4人	6人	11人	21人	32人	129人	130人
■地区図書館・分館の祝日開館		4人	2人	8人	7人	15人	41人	109人	119人
■中央図書館の土・日曜日・祝日の開館時間の延長		4人	1人	6人	6人	9人	20人	83人	61人
■地区図書館・分館の月曜日開館		2人		6人	2人	11人	35人	31人	77人
■中央図書館の月曜日開館		3人	1人	7人	3人	10人	27人	34人	39人
■わからない	1人	4人		1人		6人	12人	21人	25人

インターネットモニターアンケート結果

図書館に導入してほしいと思うサービス



図書館に導入してほしいと思うサービス	全体		中央区		花見川区		稲毛区		若葉区		緑区		美浜区	
図書返却ポストの設置	472人	1位	133人	1位	72人	2位	58人	2位	78人	1位	42人	1位	89人	1位
WEB図書館サービス	412人	2位	91人	2位	75人	1位	63人	1位	70人	2位	33人	3位	80人	2位
図書館以外で読書のできる施設と連携	334人	3位	88人	3位	51人	3位	37人	3位	50人	3位	34人	2位	74人	3位
自動貸出機の設置	206人	4位	49人	4位	23人	6位	34人	4位	38人	4位	20人	4位	42人	4位
音楽配信サービス	174人	5位	38人	6位	28人	4位	22人	5位	35人	5位	17人	7位	34人	6位
商用データベースの提供	161人	6位	34人	7位	24人	5位	17人	7位	30人	6位	19人	5位	37人	5位
無線LANアクセスポイントの設置	159人	7位	41人	5位	22人	7位	19人	6位	26人	7位	18人	6位	33人	7位
電子書籍専用端末の館内利用	67人	8位	18人	8位	11人	8位	8人	8位	8人	8位	9人	8位	13人	8位



千葉市読書環境整備計画

発行／平成26年3月

千葉市教育委員会生涯学習部中央図書館
〒260-0045千葉市中央区弁天3丁目7番7号
TEL043-287-3980